

令和7(2025)年度版
保健所事業報告書

健康しかけ人白書

石川県石川中央保健福祉センター保健部

事業報告編

目 次

第1章 石川中央保健福祉センター (保健部)の概要

第1節 沿革

- 1 石川中央保健福祉センター 1
- 2 河北地域センター 1

第2節 施設の概況及び所管区域

- 1 施設の概況 2
 - (1) 石川中央保健福祉センター
 - (2) 河北地域センター
- 2 所管区域 2

第3節 組織及び事業等

- 1 組織及び事業 3
- 2 職員の職種別構成 3
- 3 附属機関 4
- 4 保健所事業の概要 5
 - (1) 地域保健法と保健所事業
 - (2) 地域保健対策の推進に関する基本的な指針と保健所各課の事業

第2章 生活衛生

第1節 食品衛生

- 1 食品関係営業施設と監視指導 ... 11
- 2 食中毒発生状況 14
- 3 食品等収去試験 14
- 4 食品衛生苦情相談 14
- 5 食品衛生の消費者普及啓発 ... 14

第2節 環境衛生

- 1 営業衛生 15
- 2 狂犬病予防 16
- 3 公害防止 16
- 4 水道・飲料水 16

第3章 保 健

第1節 母子保健

- 1 健やか妊娠育児支援強化事業 ... 18
- 2 母親のメンタルヘルス支援事業 ・ 19
- 3 相談・訪問指導 19

- 4 講演会・連絡会等 20
- 5 小児慢性特定疾病児童等
自立支援事業・相談状況等 .. 20

第2節 感染症

- 1 結核予防 22
 - (1) 新登録状況
 - (2) 治療状況
 - (3) 定期健康診断
 - (4) 接触者健診
 - (5) 管理検診
 - (6) 結核対策特別促進事業
- 2 感染症予防 25
 - (1) 感染症発生状況（全数把握）
 - (2) 感染症発生状況（五類 定点把握）
 - (3) 感染症予防相談・訪問指導
 - (4) 感染症検査
 - (5) 感染症予防研修会
 - (6) 感染症予防のための施設巡回指導
 - (7) 感染症に関する健康教育
 - (8) 「新興感染症患者の移送に係る協力に関する覚書」についての
消防との連絡会
- 3 エイズ・性感染症予防 32
 - (1) エイズ相談・検査
 - (2) 性感染症相談
 - (3) エイズ・性感染症予防に関する普及啓発
- 4 ウイルス性肝炎対策 34
 - (1) ウイルス性肝炎相談・検査
 - (2) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業
 - (3) 研修会
- 5 集団かぜ発生状況 36

第3節 精神保健福祉

- 1 精神障害者受療状況 37
- 2 精神障害者保健福祉手帳交付状況・ 37
- 3 精神保健福祉相談及び訪問指導 .. 38
- 4 ひきこもり社会参加復帰支援事業 ・ 40
- 5 精神障害者地域生活支援事業 ... 40
- 6 自殺防止対策事業 40
- 7 関係機関との連携 42

第4節 難病	
1 相談指導事業	44
2 面接相談・電話相談	45
3 訪問指導	46
4 事例検討会	47

第5節 健康増進	
1 健康教育	48
2 栄養改善	49
3 健康増進	50
(1) 健康づくり	
(2) 食育の推進	
(3) 栄養成分表示	
(4) いしかわヘルシー&デリシャス メニュー普及事業	
(5) 受動喫煙対策	
(6) 国民健康・栄養調査・ 歯科疾患実態調査	

第6節 骨髄バンク	54
------------------	----

第7節 被爆者健康診断	55
--------------------	----

第8節 アスベスト(健康相談・救済)	56
---------------------------	----

第4章 地域保健福祉の推進

第1節 健康危機管理

1 健康危機管理に関する研修会・連絡会	57
2 高齢者施設等における 感染症対応力強化事業	58

第2節 関係機関との連携

1 地域保健・医療・福祉連携対策連絡会	60
2 糖尿病重症化予防ネットワーク事業	61
3 市町支援	62

第3節 調査研究	63
-----------------	----

第4節 指導監査・実地指導

1 社会福祉施設指導監査	67
2 介護保険施設等実地指導	67
3 介護保険市町(保険者)事務支援	67

第5節 研修・学生指導

1 地域保健従事者への研修・連絡会	68
2 医師臨床研修	69
3 学生実習指導等	69

第5章 医療

第1節 医事・薬事

1 医事	71
(1) 医療施設数及び保健・医療等従事者数	
(2) 医療機関立入検査	
(3) 医療相談窓口	
2 薬事	74
(1) 薬事関係施設等と監視指導	
(2) 献血推進状況	
(3) 薬物乱用防止普及啓発事業	

第2節 医療費公費負担

1 結核医療費給付	77
2 妊孕性温存治療費助成事業	77
3 肝炎治療に対する医療費助成	77
4 小児慢性特定疾病医療給付	78
5 指定難病及び特定疾患医療給付	79

第 1 章 石川中央保健福祉センター (保健部) の概要

第 1 節 沿革

1 石川中央保健福祉センター

昭和	17. 12. 1	石川県松任保健所設置（旧所在地 松任市古城町ル 1 番地）
	27. 8. 1	優生保護相談所設置
	48. 5. 1	現在地に新築移転
平成	8. 9. 26	優生保護相談所廃止
	9. 4. 1	石川中央保健所に名称変更
	12. 4. 1	石川中央保健福祉センターに組織改正（保健所、福祉事務所、児童相談所の統合化）
	24. 4. 1	石川中央保健福祉センター（本所）に、河北地域センター業務の一部（会計及び 医事業務並びに特定疾患指導、精神保健福祉及び母子保健の訪問業務等）を集約

2 河北地域センター

昭和	16. 12. 1	石川県津幡保健所設置（旧所在地 津幡町字津幡ニ 1 3 3 番地 1）
	27. 8. 1	優生保護相談所設置
	53. 5. 10	現在地に新築移転
平成	8. 9. 26	優生保護相談所廃止
	9. 4. 1	石川中央保健所河北センターに名称変更
	12. 4. 1	石川中央保健福祉センター河北地域センターに名称変更
	24. 4. 1	石川中央保健福祉センター河北地域センター業務の一部を石川中央保健福祉センター （本所）所管に変更

第2節 施設の概況及び所管区域

1 施設の概況

(1) 石川中央保健福祉センター

・所在地	石川県白山市馬場2丁目7番地			
・土地・建物	ア 土地	2,637.31㎡		
	イ 建物	1,157.40㎡	(ア)庁舎	993.78㎡(2階建て 建面積488.53㎡)
			(イ)車庫	114.00㎡
			(ウ)犬抑留舎	29.20㎡
			(エ)書庫	20.42㎡

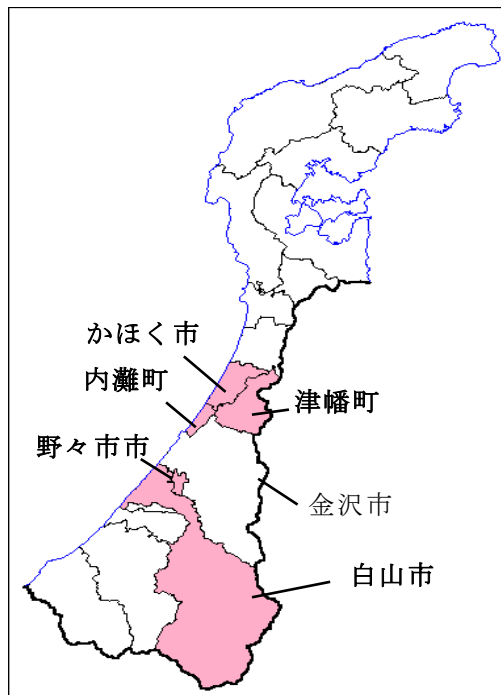
(2) 河北地域センター

・所在地	石川県河北郡津幡町字中橋口1番1			
・土地・建物	ア 土地	3,250.00㎡		
	イ 建物	1,196.36㎡	(ア)庁舎	999.36㎡(2階建て 建面積 564.66㎡)
			(イ)車庫	148.50㎡
			(ウ)犬抑留舎	36.12㎡
			(エ)自転車置場	12.38㎡

2 所管区域

石川県の県都金沢市を挟み、かほく市、白山市、野々市市、河北郡（津幡町・内灘町）の3市2町を管轄する。管内面積は963.76km²、人口は265,488人（令和7年10月1日現在推計）で、保健所より最も遠い管轄市町支所までの所要時間は、片道約1時間あまりを要する比較的移動距離の大きい所轄区域である。

図1 石川県石川中央保健福祉センター（石川中央保健所）所管区域図及び面積と人口

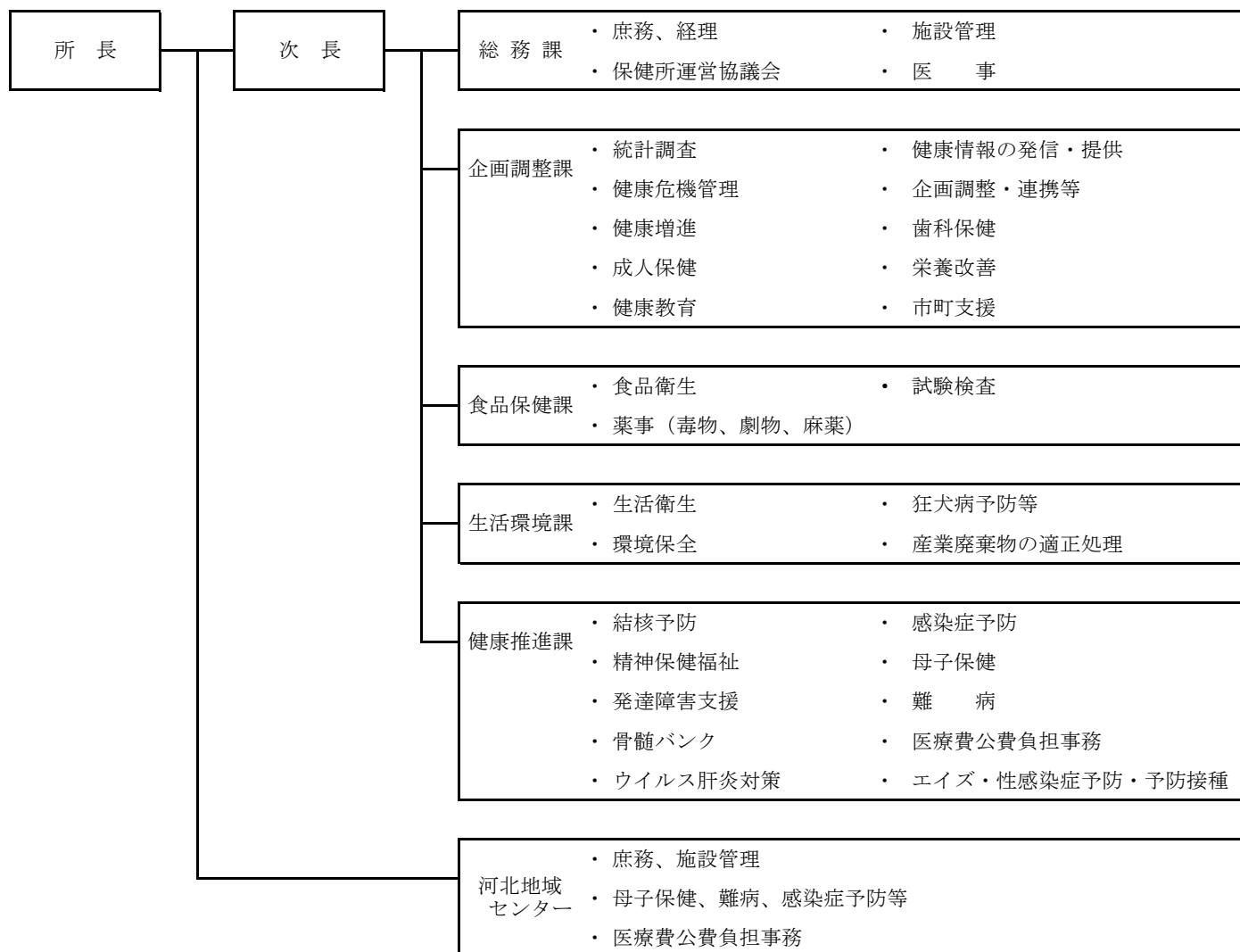


令和7年10月1日現在推計

区分	面積 (km ²)	人口 (人)		
		総数	男	女
石川県	4,190.94	1,089,858	530,134	559,724
管内計	963.76	265,488	130,537	134,951
かほく市	64.36	35,517	17,205	18,312
白山市	754.92	109,024	53,009	56,015
野々市市	13.56	58,560	30,047	28,513
津幡町	110.59	36,880	18,072	18,808
内灘町	20.33	25,507	12,204	13,303

第3節 組織及び事業等

1 組織及び事業（令和7年4月現在）



※平成24年4月1日から、河北地域センターの医事業務及び訪問業務等（指定難病等指導、精神保健福祉、母子保健）は、石川中央保健福祉センターに集約

2 職員の職種別構成（令和7年4月現在）

区 分	医師	事務	保健師	薬剤師	化学	獣医師	管理 栄養士	福祉	臨床検 査技師	非常勤	計
所 長	1										1
次 長		1		1							2
総 務 課		3								2	5
企画調整課			3 (1)				2				5 (1)
食品保健課				5 (1)		1			1		7 (1)
生活環境課				2	2	1				1	6
健康推進課			11 (2)					1		1	13 (2)
河北地域C		1	2								3
計	1	5	16 (3)	8 (1)	2	2	2	1	1	4	42 (4)

（ ）は育児休業者等で外数

3 附属機関(保健所運営協議会)

(任期：令和7年9月1日～令和9年8月31日)

(14名)

白山ののいち医師会長	古 澤 明 彦
河北郡市医師会長	久 保 隆 之
河北歯科医師会長	津 田 謹 誠
石川県薬剤師会白山ののいち支部	上 明 子
白山市社会福祉協議会長	村 井 志 朗
白山市女性協議会長	柳 幸 枝
野々市市女性協議会長	澤 村 昭 子
内灘町女性協議会長	岡 野 一 美
野々市市立御経塚保育園長	森 美 保
健心会 しいのきこども園長	西 田 和 美
石川食品衛生協会長	金 谷 芳 久
石川中央食生活改善推進協議会長	春 田 悦 子
かほく市健康福祉部長	多 田 直 隆
野々市市健康福祉部長	増 山 浄

(R8.3.31時点)

4 保健所事業の概要

(1) 地域保健法と保健所事業

(令和7年度)

	地域保健法	保健所の事業等	その他関連法令	担当課
第六條	一 地域保健に関する思想の普及及び向上に関する事項	・健康教育 ・健康教育教材の貸出		企画調整課
	二 人口動態統計その他地域保健に係る統計に関する事項	・病院報告(患者票) ・医療施設静態調査ほか ・人口動態統計・各種統計調査 ・感染症発生動向調査(結核含む)	・統計法、医療法 ・統計法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	総務課 企画調整課 健康推進課
	三 栄養の改善及び食品衛生に関する事項	<栄養の改善> ・国民健康・栄養調査 ・専門的栄養指導 ・特定給食施設等指導事業 ・調理師等の育成・指導 ・ソーシャルキャピタル(食生活改善推進員協議会)への支援 ・栄養士・調理師免許事務	・健康増進法 ・栄養士法、調理師法	企画調整課
		<食品衛生> ・食品関係営業許可等施設に対する監視指導 ・食品等の収去試験 ・食中毒等防止対策 ・食品苦情の相談受付 ・食品衛生の普及啓発	・食品衛生法 ・と畜場法 ・食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律	食品保健課
	四 住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項	・生活衛生営業施設(旅館・公衆浴場・興行場・理容所・美容所・クリーニング所)許可、確認検査、衛生管理指導 ・温泉利用施設等の許可、監視指導 ・水道施設、特定建築物の衛生管理指導 ・公害関係施設監視指導等 ・公害苦情処理 ・狂犬病予防、動物愛護関係業務	・旅館業法 ・公衆浴場法 ・興行場法 ・理容師法 ・美容師法 ・クリーニング業法 ・温泉法 ・水道法 ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律 ・水質汚濁防止法 ・大気汚染防止法 ・ダイオキシン類対策特別措置法 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・浄化槽法 ・狂犬病予防法 ・動物の愛護及び管理に関する法律	生活環境課

	地域保健法	保健所の事業等	その他関連法令	担当課
第六 条	五 医事及び薬事に関する事項	< 医事 > ・ 医療監視 ・ 医療機関の開設・変更許可 ・ 医療従事者の免許申請 ・ 石川中央医療圏地域医療構想調整会議 ・ 糖尿病重症化予防ネットワーク事業 ・ 医師臨床研修、看護師・管理栄養士等学生実習	・ 医療法 ・ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律 ・ 柔道整復師法 ・ 歯科技工士法 ・ 臨床検査技師等に関する法律 ・ 死体解剖保存法	総務課 企画調整課
		< 薬事 > ・ 薬事（医薬品、医療機器）関係施設の監視指導 ・ 毒物・劇物取扱施設の監視指導 ・ 麻薬・覚せい剤関係施設の監視指導 ・ 薬物乱用防止普及啓発活動 ・ 献血の推進	・ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 ・ 毒物及び劇物取締法 ・ 麻薬及び向精神薬取締法 ・ 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	食品保健課
	六 保健師に関する事項	・ 保健関係の学生等地域実習指導 ・ 地域保健関係者研修	・ 地域保健対策の推進に関する基本的な指針	企画調整課
	七 公共医療事業の向上及び増進に関する事項	・ 公費負担申請及び相談（小児慢性特定疾病・難病・肝炎・結核・不妊治療費助成事業）	・ 児童福祉法 ・ 難病の患者に対する医療等に関する法律 ・ 障害者総合支援法 ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	健康推進課
	八 母性及び乳幼児並びに老人の保健に関する事項	< 母性及び乳幼児の保健 > ・ 健やか妊娠育児支援 ・ 母親のメンタルヘルス支援 ・ 発達障害児の支援 ・ 母体保護相談及び届出 ・ 児童虐待予防	・ 母子保健法 ・ 発達障害者基本法 ・ 母体保護法 ・ 児童福祉法 ・ 児童虐待の防止等に関する法律	健康推進課
		< 老人の保健 > ・ 特定健診受診率向上対策講演会の開催 ・ 地域・職域連携推進部会の開催	・ 健康増進法 ・ 高齢者の医療の確保に関する法律	企画調整課
	九 歯科保健に関する事項	・ 歯と口腔の健康づくり支援事業 ・ 歯科口腔人材育成事業	・ 歯科口腔保健の推進に関する法律	企画調整課

	地域保健法	保健所の事業等	その他関連法令	担当課
第六 条	十 精神保健に関する事項	<精神保健福祉> ・こころの健康相談・訪問指導等 ・地域生活支援事業 ・ひきこもり対策（ひきこもり社会参加復帰支援事業） ・関係団体への支援（ボランティアグループ・家族会） ・自殺予防対策	・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 ・障害者総合支援法 ・自殺対策基本法	健康推進課
	十一 治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病により長期に療養を必要とする者の保健に関する事項	<難病> ・難病患者の訪問・相談 （公費負担申請時面接相談・訪問指導・患者や家族のつどい） ・難病関係者研修	・難病の患者に対する医療等に関する法律 ・障害者総合支援法	健康推進課
	十二 感染症その他の疾病の予防に関する事項	・エイズ、性病、その他の感染症予防（相談・健康教育） ・感染症発生動向調査（発生届受理、積極的疫学調査、健康診断勧告、就業制限、入院勧告等、消毒等の処置） ・感染症検査、臨床検査（食中毒、感染症等） ・結核患者管理（訪問指導・結核発生動向調査・接触者検診・管理検診・感染症診査協議会） ・結核対策特別促進事業〔研修会（医師、その他関係者）・健康教育〕 ・社会福祉施設・介護保険施設への指導監査 ・定期予防接種実施の指示 ・予防接種担当者連絡会 ・肝炎ウイルス感染者等支援事業 ・原爆被爆者健康診断 ・アスベストに関する相談 ・骨髄提供登録、臓器提供に関する普及啓発	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・予防接種法 ・肝炎対策基本法 ・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律 ・石綿による健康被害の救済に関する法律 ・臓器の移植に関する法律	健康推進課 食品保健課 健康推進課 企画調整課 健康推進課 健康推進課 生活環境課 健康推進課
	十三 衛生上の試験及び検査に関する事項	・食中毒関連検査、食品収去検査、感染症関連検査、飲料水検査、海水浴場水検査、プール水検査 ・エイズ・性病検査、尿・血液・生化学的検査、寄生虫検査	・食品衛生法 ・水道法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	食品保健課
	十四 その他地域住民の健康の保持及び増進に関する事項	・がん検診受診率向上推進事業 ・いしかわヘルシー&デリシャスメニュー普及事業 ・健康づくり応援の店推進事業 ・企業の健康経営総合推進事業 ・受動喫煙防止対策事業 ・食育推進事業	・健康増進法 ・食育基本法	企画調整課

	地域保健法	保健所の事業等	その他関連法令	担当課
第七 条	一 所管区域に係る地域保健に関する情報を収集し、整理し、及び活用すること	・保健所事業報告書 ・保健情報の収集、整理と活用 ・ホームページによる情報の提供		企画調整課 全 課
	二 所管区域に係る地域保健に関する調査及び研究を行うこと	・保健に関する調査及び研究		全 課
	三 歯科疾患その他厚生労働大臣の指定する疾病の治療を行うこと			
	四 試験及び検査を行い、並びに医師、歯科医師、薬剤師その他の者に試験及び検査に関する施設を利用させること			
第八 条	都道府県の設置する保健所は、前二条に定めるもののほか、所管区域内の市町村の地域保健対策の実施に関し、市町村相互間の連絡調整を行い、及び市町村の求めに応じ、技術的助言、市町村職員の研修その他必要な援助を行うことができる。	<連絡調整> ・母子保健連絡会 ・地域精神保健福祉担当者連絡会		健康推進課
		<技術的助言> ・市町の各種協議会への参画（介護保険運営協議会、健康づくり推進協議会、地域包括支援センター運営協議会、地域ケア推進会議、環境審議会 ほか） ・介護保険者（市町）への実地指導 ・介護保険施設への指導監査 ・市町の各種計画策定委員会及び部会等への参画 ・市町の各種事業検討会及びケース検討への参画 ・小中学校結核対策委員会への助言	・介護保険法 ・高齢者の医療の確保に関する法律 ・高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律 ・母子保健法 ・精神保健福祉法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	全 課 企画調整課 健康推進課
		<研修> ・地域保健関係者研修 ・母子保健関係者研修		企画調整課 健康推進課
第十一 条	第五条第一項に規定する地方公共団体は、保健所の所管区域内の地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議させるため、当該地方公共団体の条例で定めるところにより、保健所に、運営協議会を置くことができる。	・保健所運営協議会		全 課

(2)地域保健対策の推進に関する基本的な指針(平成 6 年 12 月 1 日厚生省告示第 374 号)と保健所各課の事業				最終改正：令和 7 年 3 月 7 日厚生労働省告示第 52 号	(令和 7 年度)
基本的な指針	総務課	企画調整課	食品保健課	生活環境課	健康推進課
(1) 健康的なまちづくりの推進 ・市町保健サービス及び福祉サービスの一体的な提供、ソーシャルキャピタルの広域的な熟成・活用 ・学校、企業等の関係機関との幅広い連携 ・地域の健康課題の把握、保健・医療・福祉の連携体制の構築		・働く世代への健康づくりの応援 ・地域・職域連携推進連絡会 ・ソーシャルキャピタル（食生活改善推進員協議会）への支援 ・健康づくり応援の店推進事業 ・受動喫煙防止対策事業 ・食育推進事業	・医薬品の正しい取扱いと医薬分業推進に係る普及啓発 ・麻薬、覚せい剤等の薬物乱用防止に係る普及啓発	・動物の愛護意識の普及啓発	・骨髄提供登録、臓器提供意思表示カード普及啓発 ・エイズ、性感染症予防の普及啓発 ・自殺予防に関する普及啓発
	・健康に関する出前講座				
(2) 専門的かつ技術的業務の推進 ・地域保健対策についての機能強化、地域住民のニーズの把握、市町への積極的な支援 ・市町との十分な連携及び協力 ・食品安全、生活衛生、医事、薬事等についての広域的監視及び検査拠点としての機能強化	・医療監視及び医療機関実地調査の実施 ・医療機関行政情報システムの確保	・肝炎ウイルス感染者等支援事業 ・市町の特定健診保健指導検討会への支援 ・市町及び職域等との地域・職域連携推進会の開催 ・特定健診受診率向上対策講演会の開催 ・がん検診受診率向上推進事業 ・特定給食施設への個別指導と研修 ・専門的栄養指導 ・栄養士の育成・指導 ・調理師の育成・指導	・大規模食品製造施設に対する HACCP（危害分析重要管理点）の概念に基づく監視指導 ・石川県食品衛生監視指導計画に基づく計画的、重点的な監視指導 ・医薬品製造施設等に対する GMP（適正製造基準）に基づく監視指導 ・食品保健、環境衛生、感染症に係る検査（水質検査、食品細菌検査、糞便検査）	・理容、美容、クリーニング、旅館、公衆浴場、ビル等の衛生管理、特に感染症予防を中心とした監視指導 ・環境衛生施設に対する衛生管理講習会の開催 ・犬の危害防止のための指導 ・動物の取扱い施設の適正管理指導 ・大気、水質、ダイオキシン等届出施設の適正管理指導	・結核対策（患者管理、結核予防出前講座等） ・小中学校結核対策委員会への支援 ・感染症予防相談及び訪問指導 ・エイズ、性感染症相談・検査 ・ウイルス肝炎相談・検査 ・難病患者地域療養支援事業（相談及び訪問、患者等の相談会、関係者研修会等） ・精神保健福祉相談、精神障害者地域生活支援事業 ・ひきこもり社会参加復帰支援事業 ・ゲートキーパー養成 ・健やか妊娠育児支援強化事業（多胎児支援、児童虐待、発達障害に関すること） ・母親のメンタルヘルス支援事業 ・被爆者健康診断、アスベストに関する相談 ・担当者連絡会（母子保健、予防接種、精神保健福祉）
(3) 情報の収集、整理及び活用の推進 ・保健・医療・福祉に関する情報の幅広い収集、管理、分析、評価、提供 ・住民相談に総合的に対応できる情報ネットワークの構築 ・情報部門の機能強化	・病院報告、医療施設静態調査等の実施 ・医療・薬局機能情報の提供	・各種地域保健情報の収集及び提供 ・保健所の事業報告書 ・ホームページによる情報の提供 ・人口動態調査の実施 ・各種統計調査の実施 ・国民生活基礎調査 ・国民（県民）健康・栄養調査	・食中毒予防、食品の安全性に関する情報の収集と提供	・大気、水質等の環境情報の集積提供及び管理 ・大気、水質、ダイオキシン、地下水に係る届出書の審査及び受理	・感染症（結核含む）発生動向調査の推進及び活用 ・予防接種（実施状況の把握、予防接種累積接種率の評価） ・集団かぜ発生状況の情報収集
	・地域保健・健康増進事業報告 ・衛生行政報告例				
(4) 調査及び研究等の推進 ・地域住民の生活に密着した調査及び研究や先駆的・模範的な調査及び研究の推進、調査疫学部門の機能強化 ・情報の収集・整理・活用及び調査・研究についての国の技術的・財政的援助の実施				・環境衛生施設の衛生管理状況の実態調査及び研究の推進	

基本的な指針	総務課	企画調整課	食品保健課	生活環境課	健康推進課
(5) 市町に対する援助及び市町相互間の連絡調整の推進 ・市町に対する専門的・技術的な指導・支援及び市町保健センター等の運営に関する協力の積極的実施 ・市町職員等に対する現任訓練を含めた研修等の積極的推進、研修部門の機能強化		・市町が開催する事業検討会への参画・評価 ・市町保健福祉事業連絡会の開催 ・各種保健事業に関する事業検討会の開催 ・地域保健関係者研修の開催 ・介護保険者(市町)への事務指導 ・介護保険施設等への指導監査	・食品衛生管理向上のための関係施設（小中学校、保育所、福祉施設、事業所等）の指導等 ・食生活改善推進員の養成のための技術的支援	・狂犬病等動物に由来する感染症予防についての市町支援 ・公害、廃棄物等による苦情に対する技術的な市町支援	・市町母子ケース検討会への支援 ・研修会(結核、感染症、特定疾患、精神保健福祉、母子保健)
		・各種会議等への参加 ・各種研修会等への講師派遣			
(6) 企画及び調整機能の強化 ・医療計画・介護保険事業支援計画・がん対策推進計画・健康増進計画・老人福祉計画・障害者計画等の策定への関与、各種地域保健サービスの評価・施策への反映、保健・医療・福祉のシステムの構築、病診連携・医薬分業、ソーシャルキャピタルを活用した健康づくり支援、食品安全及び生活衛生に係るサービス等の提供、地域保健の課題についての企画調整の推進 ・企画及び調整部門の機能強化	・保健所運営協議会の開催	・石川中央医療圏保健医療計画推進協議会の開催 ・糖尿病重症化予防ネットワーク協議会への支援 ・市町介護保険事業計画への策定支援 ・市町健康増進計画の策定支援 ・市町老人福祉計画の策定支援 ・市町保健・福祉事業関係協議会への参画 ・歯と口腔の健康づくり推進会議	・適正な医薬分業の推進 ・外部及び内部精度管理による検査機能の強化	・地球温暖化防止、資源循環型社会の構築に向けた環境意識の普及啓発 ・関係団体の育成及び環境衛生意識の普及啓発	・障害者自立支援協議会への参画 ・要保護児童対策地域協議会、実務者会議、ケース検討会への支援
		・各種協議会・会議等への参画 ・各種研修会等への講師派遣			
(7) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化 ・健康危機に備えた準備、体制強化 ・健康危機の発生防止、地域医療の量的・質的提供状況の把握と評価、医療提供体制の確保、危機管理体制の整備、科学的知見に基づく情報管理 ・人員配置、業務分担、応援職員受入のための体制の検討 ・統括保健師の配置 ・関係機関との連携 ・健康危機管理のリスクコミュニケーション、休日・夜間の体制整備 ・健康危機発生時の情報の収集・提供、医療の確保、管内市町の健康危機管理 ・健康危機事例発生後の科学的根拠に基づく評価、公表、施策への反映、被害者及び業務従事者に対する精神保健福祉対策の推進 ・健康危機対処計画の策定	・医療機関実地調査等の実施 ・災害時等における現地対策本部体制整備 ・災害・救急医療情報システムの確保	・健康危機管理マニュアル(保健所編)等の修正・作成 ・災害時医療関係機関連絡会の開催 ・健康危機に関する防疫訓練の実施 ・健康危機対処計画の策定 ・高齢者施設等の感染症対応力強化事業(地区協議会、高齢者施設とICN連絡会、実地支援等)	・健康危機管理マニュアル（食中毒・毒劇物）による健康危機管理体制の整備 ・水道施設の安全・衛生確保指導及び安定供給のための広域指導に係る水質検査	・水道施設の安全、衛生確保指導及び安定供給のための広域指導 ・し尿、廃棄物の処理に関する指導及び情報の提供 ・屋外活動施設の衛生管理状況の把握と監視指導	・要配慮者に対する緊急時対応体制の整備 ・感染症に関する研修会の開催（保育所、高齢者関係施設等）
	・健康危機管理体制の整備 情報収集及び連絡体制、初動調査体制、医療体制の整備、関係機関との連携、対策本部及び連絡会議の設置、被害拡大防止対策の実施、地域住民への情報提供、関係施設に対する監視指導、予防知識の普及啓発等				

第 2 章 生 活 衛 生

第 1 節 食品衛生

飲食に起因する衛生上の危害を防止するため、食品衛生法第 24 条第 1 項の規定に基づく「石川県食品衛生監視指導計画」により食品関係営業施設等に対する監視指導を実施している。

近年全国的に、生食肉や加熱不十分の食肉を飲食したことが原因のカンピロバクターや腸管出血性大腸菌による食中毒やノロウイルスによる食中毒が多く発生していることから、これらの食中毒の未然防止のため、食肉取扱施設、旅館等飲食店などの関連施設を対象に、監視指導を強化している。

また、広域流通する食品の製造・加工施設については、HACCP の概念にもとづく監視指導を行うとともに、収去検査を実施し、大規模食中毒の未然防止や違反食品等の流通の防止を図っている。

1 食品関係営業施設と監視指導

表 1－1 食品関係営業施設数(旧食品衛生法第 52 条第 1 項の規定に基づく許可を要する施設)

(令和 7 年度末)

業 種 別	年度当初 施 設 数	許可施設数		廃 業 施設数 (※)	年度末 施設数	監視件数
		継 続	新 規			
飲食店営業	724	—	—	82	337	142
菓子製造業	179	—	—	22	94	34
乳製品製造業	1	—	—			
魚介類販売業	48	—	—	4	23	28
魚介類競り売り営業	—	—	—			
食肉練り製品製造業	2	—	—		1	1
食品の冷凍または冷蔵業	8	—	—	1	3	
かん詰またはびん詰食品製造業	3	—	—		1	
喫茶店営業	16	—	—	3	8	9
あん類製造業	—	—	—			
アイスクリーム類製造業	28	—	—	3	12	14
食肉処理業	1	—	—			
食肉販売業	47	—	—	2	30	21
食肉製品製造業	4	—	—		2	2
乳酸菌飲料製造業	—	—	—			
食用油脂製造業	1	—	—		1	
マーガリン又はショートニング製造業	1	—	—			
みそ製造業	12	—	—	1	6	3
しょうゆ製造業	3	—	—			2
ソース類製造業	2	—	—	1	1	
酒類製造業	3	—	—			
豆腐製造業	6	—	—	1	2	5
納豆製造業	1	—	—			
麺類製造業	8	—	—	2	2	1
そうざい製造業	50	—	—	8	21	7
清涼飲料水製造業	2	—	—	1		
氷雪製造業	—	—	—			
合 計	1, 150	—	—	131	544	269

(※) 廃業施設数については、旧食品衛生法第 52 条第 1 項の規定に基づく許可を取得していた施設が、許可期間満了により、改正食品衛生法第 55 条第 1 項の規定に基づく許可を取得した場合は計上していない。

表 1－2 食品関係営業施設数(改正食品衛生法第 55 条第 1 項の規定に基づく許可を要する施設)
(令和 7 年度末)

業 種 別	年度当初 施 設 数	許可施設数		廃 業 施設数	年度末 施設数	監視件数
		継 続	新 規			
飲食店営業	1,586	—	483	49	2,020	1,010
調理の機能を有する自動販売機	4	—	2		6	2
食肉販売業	67	—	18	2	83	50
魚介類販売業	68	—	22	3	87	61
魚介類競り売り営業	—	—				
食肉処理業	14	—	1		15	9
菓子製造業	302	—	87	9	380	184
アイスクリーム類製造業	15	—	2		17	6
乳製品製造業	4	—	2		6	3
清涼飲料水製造業	4	—	1	1	4	5
食肉製品製造業	7	—	2		9	9
水産製品製造業	15	—	6		21	31
氷雪製造業	—	—				
食用油脂製造業	2	—			2	1
みそ又はしょうゆ製造業	20	—	7	1	26	18
酒類製造業	9	—	3		12	3
豆腐製造業	6	—	3		9	11
納豆製造業	1	—	1		2	2
麺類製造業	8	—	4		12	7
そうざい製造業	125	—	28	2	151	90
複合型そうざい製造業	4	—			4	8
冷凍食品製造業	7	—			7	7
複合型冷凍食品製造業	3	—	1		4	5
漬物製造業	52	—	3	1	54	14
密封包装食品製造業	15	—	1	2	14	8
食品の小分け業	3	—			3	1
添加物製造業	1	—			1	
合 計	2,342	—	677	70	2,949	1,545

表 1－3 食品関係営業施設数(改正食品衛生法第 57 条第 1 項の規定に基づく届出施設)

(令和 7 年度末)

業 態 別		年度末 施設数	監視件数
旧許可業種	魚介類販売業（包装済みの魚介類のみの販売）	149	12
	食肉販売業（包装済みの食肉のみの販売）	193	22
	乳類販売業	353	63
	氷雪販売業	31	17
	コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	638	6
販売業	弁当販売業	45	21
	野菜果物販売業	79	25
	米穀類販売業	53	20
	通信販売・訪問販売による販売業	11	2
	コンビニエンスストア	143	12
	百貨店、総合スーパー	91	48
	自動販売機による販売業 （コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く。）	151	1
	その他の食料・飲料販売業	254	37
製造・加工業	添加物製造・加工業	2	
	いわゆる健康食品の製造・加工業	3	
	コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	30	3
	農産保存食料品製造・加工業	47	5
	調味料製造・加工業	18	5
	糖類製造・加工業		
	精穀・製粉業	8	1
	製茶業	5	
	海藻製造・加工業	1	
	卵選別包装業	1	1
	その他の食料品製造・加工業	54	6
上記以外のもの	行商	7	
	集団給食施設	162	82
	器具、容器包装製造・加工業	9	1
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	1	
	その他	28	1
合 計		2,567	391

2 食中毒発生状況

(令和7年度)

No.	発生年月日	原因施設	摂食者数	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	摂取場所	調理場所	行政処分
1	R7.5.14	野々市市	4	2	スイセン (推定)	植物性自然毒	家庭	家庭	家庭	-

3 食品等収去試験

(令和7年度) (件)

区分 食品等の種別	試験した 収去検体数	検査項目						不良 件数
		成分規格	指導基準	添加物 使用基準	残留農薬	重金属	その他	
計	211	21	81	68	15	-	26	4
器具・容器包装	6	1	-	-	-	-	5	-
おもちゃ	2	2	-	-	-	-	-	-
魚介類	12	-	12	-	-	-	-	-
冷凍食品	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品	8	2	-	2	-	-	4	-
肉・卵類及びその加工品	19	3	-	4	2	-	10	1
牛乳	-	-	-	-	-	-	-	-
乳類加工品	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及びその加工品	5	-	-	2	-	-	3	-
野菜類・果物及び加工品	64	2	12	35	13	-	2	-
菓子類	23	-	18	3	-	-	2	3
清涼飲料水	25	8	-	17	-	-	-	-
酒精飲料	1	-	-	1	-	-	-	-
かん詰・びん詰食品	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	46	3	39	4	-	-	-	-

4 食品衛生苦情相談

(件)

年度	総数	苦情内容						
		腐敗変敗	かび発生	異物混入 (虫体)	異物混入 (虫体以外)	表示不良	有症苦情	その他
令和元	34	2	0	5	7	0	6	14
令和2	22	0	0	1	8	1	7	5
令和3	44	0	1	3	5	5	20	10
令和4	41	0	0	1	7	6	14	13
令和5	43	0	1	3	4	2	28	5
令和6	61	3	0	1	3	0	44	10
令和7	66	0	0	3	8	2	38	15

5 食品衛生の消費者普及啓発

ア 食品衛生等に関する講習会等への講師の派遣

回数：20回

対象者・人数：食品衛生責任者、事業所従業員、食生活改善推進員等延べ2,737人

イ 地域FM放送による食中毒予防等について広報及び啓発

ウ 食中毒予防パンフレット等の食品衛生啓発資材の配布

第 2 節 環境衛生

1 営業衛生

生活衛生営業施設には旅館、公衆浴場、興行場、理容所、美容所、クリーニング所等がある。これらの施設は住民の日常生活に深く関わっていることから、衛生上の安全、安心確保の観点から関係法令に基づき、営業の確認・許可を行うとともに、環境衛生監視員が監視指導を行い施設の衛生水準の維持向上に努めている。

表 1 営業衛生関係施設数

(令和 7 年度末)

地 区	旅館業		住宅宿泊事業	公衆浴場		興行場		理容所	美容所	クリーニング所		特 定建築物
	旅館・ホテル	簡易宿所		普 通	そ の 他	常 設	仮 設			一 般	取 次	
管 内	100	60	13	7	60	3	0	244	683	39*	121*	90
石 川 中 央	79	52	9	6	42	1	0	147	451	30	76	73
河北地域センター	21	8	4	1	18	2	0	97	232	7	40	17
白 山 市	73	50	8	5	26	1	0	89	230	21	45	37
野々市市	6	2	1	1	16	0	0	58	221	9	31	36
かほく市	9	4	3	0	6	1	0	39	89	4	18	8
津 幡 町	9	3	0	1	8	1	0	30	72	1	13	6
内 灘 町	3	1	1	0	4	0	0	28	71	2	9	3
新規施設数	1	7	2	0	1	0	0	3	24	2	3	0
廃 止 数	3	2	1	0	0	0	0	2	5	1	7	0
監視件数	25	16	0	0	9	0	0	7	34	5	4	15

*一般クリーニング所には移動クリーニング車 2 施設を、取次店には無店舗取次店 5 施設含む

表 2 温泉の利用許可状況

(令和 7 年度末)

地 区	年度末許可件数		新規許可件数		廃止件数 (施設数)	監視指導 件 数	源 泉 数	源 泉 新規数
	許可数	施設数	許可数	施設数				
管 内	95	71	0	0	1	6	53	0
石 川 中 央	85	62	0	0	1	5	41	0
河北地域センター	10	9	0	0	0	1	12	0
白 山 市	74	57	0	0	0	4	38	0
野々市市	11	5	0	0	1	1	3	0
かほく市	1	1	0	0	0	0	1	0
津 幡 町	5	4	0	0	0	0	8	0
内 灘 町	4	4	0	0	0	1	3	0

2 狂犬病予防

狂犬病予防法、犬の危害防止条例に基づき、管内市町、石川県獣医師会の協力を得て、狂犬病予防、正しい犬の飼い方、犬による危害の防止に努めている。

表3 犬の登録、予防注射及び犬の捕獲引き取り処分状況 (令和7年度末)

地 区	新規登録 申 請 数	年 度 末 登録頭数	予防注射 頭 数	捕獲頭数	返還頭数	不 用 犬 引取頭数	苦情件数
管 内	1,225	13,431	10,066	16	16	5	101
石 川 中 央	769	8,449	6,131	11	11	3	62
河北地域センター	456	4,982	3,935	5	5	2	39
白 山 市	508	6,041	4,362	10	10	2	57
野々市市	261	2,408	1,769	1	1	1	5
かほく市	188	1,550	1,407	2	2	1	11
津 幡 町	147	2,017	1,501	2	2	0	18
内 灘 町	121	1,415	1,027	1	1	1	10

※苦情内容は、放し飼い、フンの始末、鳴き声等であり、関係市町等との連携を図り、適正飼養の推進を行っている。

3 公害防止

ばい煙発生施設、粉じん発生施設、特定施設等の届出の受理及び立入検査を実施し、公害発生の未然防止を図っている。

表4 公害関係特定施設 (令和7年度末)

地 区	ばい煙発生 施 設	粉じん発生 施 設	水質特定事業場	地下水採取届出 施 設	ダイオキシン類 特 定 事 業 場
管 内	382	208	801	715	15
石 川 中 央	278	182	620	601	10
河北地域センター	104	26	181	114	5
白 山 市	244	181	523	486	9
野々市市	34	1	97	115	1
かほく市	39	14	97	79	3
津 幡 町	37	3	60	26	2
内 灘 町	28	9	24	9	0

表5 公害苦情 (令和7年度末)

No	受付日	市 町	分類	原因者等	苦情の内容
該当なし					

4 水道・飲料水

表6 飲料水検査件数 (令和7年度末)

区 分	検査件数	不適件数	不適率(%)
26項目試験	0	－	－
一部項目試験	5	0	0.0
その他(単項目の依頼)	0	－	－
計	5	0	0.0

※一部項目検査は保健環境センターで実施。単項目は保健所で実施

表7 水道施設設置状況

(令和7年度末)

	白 山 市	野々市市	かほく市	津 幡 町	内 灘 町	備 考
水 道 用 水 供 給 施 設	1 (国認可)	-	-	-	-	水道により、水道事業者に対してその用水を供給する事業
上 水 道	1 (国認可)	1 (国認可)	1	1	1	水道事業のうち、計画給水人口が5,000人を超える水道によるもの(計画給水人口が50,000人を超えるものは国認可となる。)
簡 易 水 道	51	-	-	-	-	水道事業のうち、計画給水人口が100人を超え5,000人以下である水道によるもの
専 用 水 道	14	6	-	-	1	寄宿舍、社宅、療養所等特定の人に居住に必要な水(自己水源)を供給する自家用水道で、居住人口101人以上のもの、あるいは居住人口100人以下で1日最大供給量が20m ³ を超えるもの等
簡 易 専 用 水 道	50	55	11	27	17	市町の水道事業体から供給される水のみを水源とする飲料水の供給施設で、受水槽等の有効容量が10m ³ を超えるもの
計	117	62	12	28	19	

表8 水道普及率

	石川県	管内計	白 山 市	野々市市	かほく市	津 幡 町	内 灘 町
令和6年度	99.0	97.7	95.4	99.8	99.3	99.2	98.6
令和5年度	98.7	97.1	92.3	99.8	99.3	99.2	98.6
令和4年度	98.9	97.5	94.8	99.9	99.2	99.2	98.6

出典：石川県生活環境部 水道業務統計

表9 下水道等普及率

	石川県	管内計	白 山 市	野々市市	かほく市	津 幡 町	内 灘 町
令和6年度	95.4	99.6	99.8	99.6	99.9	98.8	99.9
令和5年度	95.3	99.6	99.7	99.6	99.9	98.8	99.9
令和4年度	95.2	99.6	99.8	99.6	99.9	98.8	99.9

出典：石川県土木部 汚水処理施設整備状況(普及率)

第 3 章 保 健

第 1 節 母子保健

1 健やか妊娠育児支援強化事業

多胎妊娠や若年妊娠等のハイリスク妊娠に対して、市町及び医療機関、保健福祉センターが連携し、妊娠の早期から出産後の育児に至る経過を支援することにより、保護者の育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を促すことを目的とする。

表 1-1 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業 紹介経路別妊娠週数 (令和 7 年度) (件)

紹介経路	20週未満	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36週～	産婦	計
市 町	19	0	0	0	0	0	1	20
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関	37	8	11	8	12	10	233	319
計	56	8	11	8	12	10	234	339

表 1-2 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業 リスク要因別件数 (複数計上あり) (令和 7 年度) (件)

リスク要因		妊婦	産婦	計
多胎	双 子	13	10	23
	三つ子以上	0	0	0
若年	15歳以下	0	0	0
	15～19歳	3	4	7
高齢	35～39歳	7	12	19
	40歳以上	2	3	5
未婚		15	14	29
母の身体的疾病		17	20	37
母の精神的疾病		38	43	81
産婦一般健診でEPDS高得点			104	104
その他 (育児不安等)		49	126	175
計		144	336	480

表 1-3 未熟児等母乳哺育支援事業実施数 リスク要因別 (令和 7 年度)

リスク要因	実人員 (人)	実施回数 (回)
未熟児	3	5
多胎児	4	4
ハイリスク産婦	10	19
その他	27	41
計	44	69

表 1-4 多胎妊婦支援教室

(令和 7 年度)

事業名	日時及び会場	対象	内 容	参加者数
二人っ子・三人っ子のママのつどい	第 1 回：令和 7 年 5 月 10 日（土） 第 2 回：令和 7 年 7 月 12 日（土） 第 3 回：令和 7 年 11 月 8 日（土） 第 1.3 回 おやこの広場あさがお 第 2 回 かほく市こども家庭センター おひさま (ハイブリッド開催)	管内在住の 多胎妊婦	講話 「出産に向けての準備や心がまえについて」 講師；NPO 法人多胎ネット すみれ助産院 山岸和美 助産師 交流会 先輩家族との交流、妊婦体験 や育児体験 育児支援の情報提供	妊婦 15 名 家族 28 名 先輩家族 5 組 スタッフ 21 名

2 母親のメンタルヘルス支援事業

母親の育児不安や産後うつ病等の状況を早期に捉えて、市町及び医療機関、保健福祉センターが連携により支援するとともに、妊産婦の心のケアが実施できる体制を整備し、親と子の健やかな成長を促すことを目的とする。

表 2-1 要支援者の把握経路及び支援状況

(令和 7 年度) (人)

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町	石川中央保健福祉センター
要支援対象者数	314	2	73	45	5	4	185
支援実人数	314	2	73	45	5	4	185
市町・保健福祉センターのみでの支援	314	2	73	45	5	4	185
他機関に紹介	0	0	0	0	0	0	0

表 2-2 母子保健支援事例検討会開催状況（市町主催のうち、当所参加回数）

(令和 7 年度) (回)

	管内	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
開催回数	63	2	24	13	12	12

※個別事例検討会を含む

3 相談・訪問指導

表 3 対象別相談訪問指導状況

(令和 7 年度) (人)

区分			妊産婦		新生児 (未熟児除く)		未熟児		乳児 (新生児・未熟児除く)		幼児		その他		計	
			実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
石川中央	相談	来所	40	105	14	14	8	14	103	242	1	8	4	8	170	391
		電話	94	255	45	81	16	31	95	241	0	0	2	4	252	612
	訪問指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0

4 講演会・連絡会等

講演会や連絡会等を開催することによって、管内の連携体制の構築を図ることを目的とする。

表4 連絡会・検討会

(令和7年度)

事業内容	実施月日 開催場所	参集者	会議内容等	参加人数
管内母子保健 担当者連絡会	令和7年8月4日(月) 13:30~16:00 県リハビリテーション センター 大研修室	管内市町 母子保健担当者	1. 5歳児健診の実施について 2. 母子保健のケース支援について ・妊婦健診後のフォローについて ・妊婦等包括相談支援事業の実施状況について ・ケースの進行管理・会議について ・精神疾患のあるケースへの支援について 3 その他 ・母子保健DXの推進について 等	15名
母子精神保健 事例検討会	令和7年10月22日(水) 13:30~15:30 県リハビリテーション センター 大研修室	ケース支援者	内 容: 問題解決しない事例検討会 講 師: 西念奈津江 氏 (精神保健福祉士・公認心理師)	21名

5 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業・相談状況等

1) 相互交流支援事業

小児慢性特定疾病児童等の保護者を対象に、保護者同士が相互交流する機会を提供する。同じ立場にある保護者同士が交流をはかることにより、互いに共感し合い、励まし合い、学び合うことで、日常生活や子育て上の悩み、将来への不安の軽減につなげることを目的とする。

表5-1 相互交流支援事業（保護者交流会）の状況

(令和7年度)

実施月日	会場(対象地区)	内容	参加人数
令和8年1月26日(月)	健康センター松任 (当センター管内)	小児慢性特定疾病の子どもを持つ保護者 交流会	6名

2) 講演会、研修会等開催事業

小児慢性特定疾病児童等の保護者や学校教諭等を対象に研修会を実施し、小児慢性特定疾病児童等の自立支援に対する理解促進を図る。

表5-2 講演会、研修会等開催事業の状況

(令和7年度)

事業内容	実施月日 開催場所	参集者	会議内容等	参加人数
石川中央 医療的ケア児 支援者連絡会	令和8年2月20日(金) 石川県庁行政庁舎	管内の医療・保健・ 福祉等の支援者、市 町関係各課(障害福 祉・子育て支援、母 子保健等)	・講演「きょうだい児支援について」 講師 北陸学院大学 教育学部 幼児教育学科 准教授 松本 理沙 氏 ・意見交換	15名

3) 相談支援事業

小児慢性特定疾病児童等とその家族のニーズに対応し、情報提供や助言及び相談者同士の交流機会の確保等、必要な支援を行う。

表5-3 相談支援事業の状況

(令和7年度) (件)

相談方法の種別		電話	来所※	訪問	その他
相談件数	実		198	0	0
	延	126	237	0	0

(※申請関係を含む)

表5-4 相談支援事業(個別療養相談会)の状況

実施月日	会場(対象地区)	内容	参加人数
令和7年10月16日(木)	石川中央保健福祉センター (当センター管内)	小児慢性特定疾病・医療的ケア児の家族、難病患者 及び家族を対象に個別相談を開催 助言者 独立病院法人国立病院機構医王病院 主任医療社会事業専門職 中本 富美 氏	1名

第2節 感 染 症

1 結核予防

(1) 新登録状況

表1 新登録状況（市町別・年齢別）

（令和7年）（人）

		総 数	活 動 性 結 核				罹患率 (人口10万 対)	潜在性 結核 感染症 (別掲)	
			肺 結 核 活 動 性			肺 外 結 核 活動性			
			総 数	喀痰塗抹 陽 性	その他の 結 核 菌 陽 性				菌陰性・ その他
管内計		17	13	4	6	3	4	6.4	7
市 町 別	かほく市	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	白山市	9	7	2	5	0	2	8.3	4
	野々市市	3	2	0	0	2	1	5.1	2
	津幡町	1	0	0	0	0	1	2.7	0
	内灘町	4	4	2	1	1	0	15.7	1
年 齢 別	29歳以下	1	1	0	1	0	0	1.3	1
	30～39歳	1	1	0	0	1	0	3.6	1
	40～49歳	1	0	0	0	0	1	2.9	0
	50～59歳	1	1	0	1	0	0	2.6	0
	60～69歳	3	2	2	0	0	1	10.1	2
	70～79歳	3	3	0	2	1	0	9.0	1
	80歳以上	7	5	2	2	1	2	29.9	2

結核登録者情報調査年報

(2) 治療状況

表2 肺結核塗沫陽性者初回治療コホート

(%)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
治療成功	78.6	77.8	70.0	70.4	40.0	57.1	78.6	71.5
治療失敗脱落中断	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
死亡	10.7	16.7	20.0	22.2	40.0	42.9	21.4	28.6
情報不明	3.6	5.6	10.0	7.4	20.0	0.0	0.0	0.0

※情報不明には、転出などでコホート結果が不明となった者を含む。

結核登録者情報調査年報

(3) 定期健康診断実施状況

表3-1 定期健康診断状況

(令和7年度) (人)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検 査 内 容			患 者 発見数	発病の 恐れのある者
				ツ反	間接撮影	直接撮影		
事業主	8,386	8,027	95.7		1,653	6,374	0	1
学校長	5,293	5,248	99.1		66	5,182	0	0
施設長	1,551	1,438	92.7		645	793	0	5
市町長	70,855	15,030	21.2		2,251	12,779	0	0
合計	86,085	29,743	34.6	-	4,615	25,128	0	6

表3-2 定期健康診断(一般住民検診)状況(市町別)

(令和7年度) (人)

区分		対象者	受診者	受診率 (%)	患者発見数	発病の恐れのある者
管 内		70,855	15,030	21.2	0	0
うち、80歳以上		24,113	4,201	17.4	0	0
市 町 別	かほく市	10,236	4,365	42.6	0	0
	うち、80歳以上	3,692	1,706	46.2	0	0
	白山市	33,822	2,547	7.5	0	0
	うち、80歳以上	11,237	452	4.0	0	0
	野々市市	9,251	3,799	41.1	0	0
	うち、80歳以上	3,339	1,144	34.3	0	0
	津幡町	9,749	2,198	22.5	0	0
	うち、80歳以上	3,130	165	5.3	0	0
	内灘町	7,797	2,121	27.2	0	0
	うち、80歳以上	2,715	734	27.0	0	0

(4) 接触者健診

表4 接触者健診

(令和7年度) (人)

	対象 者数	受診 回数	受診率 (%)	保健所実施分				医療機関委託					その他 実施分	患者	潜在 性結 核感 染症	経過 観察
				延 (実)	検査内容内訳			延 (実)	検査内容内訳							
					IGRA	間接 撮影	直接 撮影		ツ反	IGRA	間接 撮影	直接 撮影				
患者家族	24	37	154.2	37 (24)	37			0 0	0	0	0	0	0	1	1	0
その他	57	68	119.3	60 (53)	60	0	0	8 (4)	0	0	0	8	0	0	3	0
合計	81	105	129.6	97 (77)	97	0	0	8 (4)	0	0	0	8	0	1	4	0

(5) 管理検診

表5 管理検診

(令和7年度) (人)

	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診機関			要医療者数	要医療率(%)	再発の恐れのある者
				保健所	委託医療機関	その他			
総数	35	35	100.0	0	31	4	0	0.0	0

(6) 結核対策特別促進事業

表6 結核対策特別促進事業内容一覧

(令和7年度)

事業名	事業の目的	実施日時	対象	内容
医師研修会	診断治療にあたる医師に対し、最近の結核医療についての知識の普及を図り、適切な結核医療を推進する。	令和7年11月20日(木) 19:00～21:00	石川中央医療圏医療機関関係者等	【報告】結核の現状 【講義】結核の最近の話題 ～疫学・診断・治療・感染対策について～ 講師 金沢医科大学 臨床感染症学講座 教授 飯沼 由嗣 先生
普及啓発事業	結核患者が発生した高齢者施設又は事業所に出向き、結核に対する正しい知識を普及し、施設での結核対策の向上を図る。	①令和7年10月2日(木) ②令和8年1月15日(木) ③令和8年3月6日(金) ④令和8年3月10日(火)	結核患者発生した高齢者施設又は事業所	知っておきたい結核のこと ～結核の動向、結核の特徴、結核の早期発見、結核の治療と患者への対応、結核の接触者健診、早期発見のために管理者にお願いしたいこと～

2 感染症予防

保健所では、医師の届出に基づき、感染源等の調査や二次感染予防のための指導をしている。また、地域での研修会や健康教育を通して、関係機関が感染症について知識を持ち、感染症予防及び感染症発生時に適切な対応ができるよう支援している。

(1) 感染症発生状況（一類・二類・三類・四類・五類：全数把握）

表1 一類・二類・三類感染症の発生状況（年次別発生件数）（人）

年 疾患別			28	29	30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
一 類 感 染 症	1	エボラ出血熱										
	2	クリミア・コンゴ出血熱										
	3	痘そ										
	4	南米出血熱										
	5	ペスト										
	6	マールブルグ病										
	7	ラッサ熱										
二 類 感 染 症	1	急性灰白髄炎										
	2	結核	25	27	39	24	36	26	17	16	22	20
	3	ジフテリア										
	4	重症急性呼吸器症候群										
	5	中東呼吸器症候群										
	6	鳥インフルエンザ(H5N1)										
	7	鳥インフルエンザ(H7N9)										
三 類 感 染 症	1	コレラ										
	2	細菌性赤痢		1		1	1			1		
	3	腸管出血性大腸菌感染症	6	7	8	4	5	9	13	12	13	9
	4	腸チフス										
	5	パラチフス										

表 2 四類・五類感染症（全数把握）の発生状況（石川中央管内・年次推移）

（人）

疾患別			年	28	29	30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
四 類 感 染 症	1	E 型 肝 炎		2	2	2	1		1	2	1	4	3
	2	ウエストナイル熱											
	3	A 型 肝 炎			1		1						
	4	エキノкокクス症											
	5	黄 熱											
	6	オウム病											
	7	オムスク出血熱											
	8	回 帰 熱											
	9	キャサヌル森林病											
	10	Q 熱											
	11	狂 犬 病											
	12	コクシジオイデス症											
	13	エムポックス											
	14	ジカウイルス感染症											
	15	重症熱性血小板減少症候群											
	16	腎症候性出血熱											
	17	西部ウマ脳炎											
	18	ダニ媒介脳炎											
	19	炭 疽											
	20	チクングニア熱					1						
	21	つつが虫病							1				
	22	デング熱			1								
	23	東部ウマ脳炎											
	24	鳥インフルエンザ											
	25	ニパウイルス感染症											
	26	日本紅斑熱							1		1		
	27	日本脳炎											
	28	ハンタウイルス肺症候群											
	29	B ウ イ ル ス 病											
	30	鼻 疽											
	31	ブルセラ症				1							
	32	ベネズエラウマ脳炎											
	33	ヘンドラウイルス症											
	34	発しんチフス											
	35	ボツリヌス症											
	36	マ ラ リ ア											
	37	野 兎 病											
	38	ラ イ ム 病											
	39	リッサウイルス感染症											
	40	リフトバレー熱											
	41	類 鼻 疽											
	42	レジオネラ症		5	6	6	4	6	6	9	3	5	7
	43	レプトスピラ症											
	44	ロッキー山紅斑熱											

* ジカウイルス感染症は平成 28 年 2 月 15 日より四類感染症に追加

疾患別			年	28	29	30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
五 類 感 染 症	1	ア メ ー バ 赤 痢		1	2	1		1	1	1			1
	2	ウ イ ル ス 性 肝 炎								1	1		
	3	カ ル バ ベ ネ ム 耐 性 腸 内 細 菌 目 細 菌 感 染 症		3	1		1		1	1	1		1
	4	急 性 弛 緩 性 麻 痺									1		
	5	急 性 脳 炎			1	1						1	1
	6	ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウ ム 症											
	7	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病			1								1
	8	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 症 球 菌 感 染 症		1			1		2			1	3
	9	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群		1	1				2				
	10	ジ ア ル ジ ア 症											
	11	侵 襲 性 イ ン フ ル 症 エ ン ザ 菌 感 染 症		1	1		2			1	3	1	2
	12	侵 襲 性 髄 膜 炎 菌 症 感 染 症											
	13	侵 襲 性 肺 炎 球 菌 症 感 染 症		4	3	5	8	2	5	1	1	3	8
	14	水 痘 (入 院 例 に 限 る)		1	1	1		1		1			2
	15	先 天 性 風 し ん 症 候 群											
	16	梅 毒		1	4	4	1	6	9	9	16	17	29
	17	播 種 性 ク リ プ ト コ ッ ク ス 症					1			1			
	18	破 傷 風				1		1					
	19	バ ン コ マ イ シ ン 耐 性 黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症											
	20	バ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症											
	21	百 日 咳				3	11	6	1	1	3	2	153
	22	風 し ん				2	3						
	23	麻 し ん			1								
	24	薬 剤 耐 性 ア シ ネ ト バ ク タ ー 感 染 症											
新 型 イ ン フ ル ゼ ン ザ 等 感 染 症		新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症						276	1,483	58,380	10,484 (R5.5.7 まで)		

- * 百日咳は平成30年1月1日より定点把握疾患から全数把握疾患に変更
- * 急性弛緩性麻痺は平成30年5月1日より全数把握疾患に変更
- * 新型コロナウイルス感染症は令和2年2月1日より指定感染症に指定し、令和3年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更
- * 令和4年9月27日以降の新型コロナウイルス感染症の患者数は、管内医療機関からの報告患者数となっている。
- * 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より定点把握疾患に変更

(2) 感染症発生状況（五類 定点把握）

表3 小児科・内科・眼科疾患（週報）

（令和7年）（人）

感染症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
インフルエンザ	管内	1,776	184	128	56	15	1	3	53	29	99	1,308	2,303	5,955
	県内	6,363	679	341	187	44	6	51	68	72	377	5,629	8,856	22,673
COVID-19	管内	308	233	257	154	45	43	107	447	451	224	145	74	2,488
	県内	1,405	815	827	538	210	169	423	1,702	1,707	812	437	261	9,306
RSウイルス感染症	管内	29	26	23	15	12	4	13	41	70	71	13	17	334
	県内	83	89	97	127	45	9	34	147	230	182	68	92	1,203
咽頭結膜熱	管内	20	7	3	6	4	28	12	19	10	3	7	21	140
	県内	40	30	33	31	53	72	70	43	17	11	22	71	493
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	管内	68	61	51	40	32	30	43	50	38	55	31	78	577
	県内	312	305	319	270	248	223	198	177	174	158	156	333	2,873
感染性胃腸炎	管内	222	216	266	251	242	261	330	312	222	256	235	298	3,111
	県内	1,075	1,229	1,392	1,375	1,215	1,056	952	898	720	738	794	992	12,436
水痘	管内	7	12	8	3	6	5	3	10	13	7	9	28	111
	県内	90	50	50	28	35	11	22	39	32	14	15	57	443
手足口病	管内	0	0	1	0	0	0	2	10	2	0	2	8	25
	県内	1	2	5	2	6	6	21	27	9	12	10	11	112
伝染性紅斑	管内	11	20	40	55	64	115	158	142	55	20	7	9	696
	県内	42	51	146	224	406	501	578	372	156	87	51	29	2,643
突発性発しん	管内	5	4	7	13	8	13	12	23	8	7	6	11	117
	県内	26	18	18	37	29	30	48	51	37	25	20	29	368
ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	1	2	21	42	18	11	2	1	98
	県内	4	2	3	1	11	18	122	314	123	74	13	4	689
流行性耳下腺炎	管内	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
	県内	3	3	1	2	3	5	1	4	9	1	4	1	37
急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	7	17	25	9	6	0	2	0	0	0	66
流行性角結膜炎	管内	46	26	38	25	34	38	47	20	16	7	10	4	311
	県内	59	38	61	41	56	65	83	58	60	44	21	20	606
細菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	県内	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
マイコプラズマ肺炎	管内	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5
	県内	21	10	1	9	2	0	11	15	6	9	8	4	96
クラミジア肺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	管内	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	県内	0	0	0	3	2	5	0	0	0	1	0	0	11

表 4 S T D 疾患・薬剤耐性菌感染症（月報）

（令和 7 年）（人）

感染症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
性器クラミジア 感染症	管内	2	4	6	16	18	13	23	19	16	25	20	18	180
	県内	40	36	40	41	43	54	61	52	46	52	47	41	553
性器ヘルペス ウイルス感染症	管内	1	2	0	9	4	9	7	6	1	12	10	6	67
	県内	11	13	13	14	18	24	19	20	14	22	20	15	203
尖形コンジロー ム	管内	1	2	1	2	2	6	6	8	4	7	3	1	43
	県内	9	6	8	11	9	12	20	13	12	16	6	9	131
淋菌感染症	管内	0	1	2	7	10	8	9	21	8	16	10	11	103
	県内	3	13	5	12	14	15	15	30	13	24	16	13	173
メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	管内	3	3	4	3	5	1	3	2	2	1	5	3	35
	県内	21	14	16	12	19	17	14	17	8	17	15	15	185
ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
薬剤耐性緑膿菌 感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 感染症予防相談・訪問指導

表5 感染症予防相談・訪問指導状況

(令和7年度)(人)

区分		1類 感染症		2類 感染症		3類 感染症		4類 感染症		5類 感染症		その他		計	
		実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員
相 談	来所	0	0	64	85	1	1	0	0	516	852	2	2	583	940
	電話		0		509		70		42		342		23		986
訪問指導		0	0	19	39	6	21	4	4	4	4	0	0	33	68

(4) 感染症検査

表6 感染症検査実施状況(検便)

(令和7年度)(件)

区分		患者・患者 との接触者	食品取扱 従事者	給食施設 従事者	水道給水 従事者	その他	計
検査 件数	依頼	0	0	0	0	0	0
	行政	28	0	0	0	0	28
陽性件数		0	0	0	0	0	0

※感染症発生届出・感染症集団発生報告を受けて実施した検査件数

(5) 感染症予防研修会

表7 感染症予防研修会の実施状況

(令和7年度)

実施日時・開催場所	内 容	参集者	参加人数
令和7年10月1日(水) 13:30~16:00 石川県リハビリテーション センター(ハイブリッド開 催)	1)「感染症集団発生時の情報把握と報告について」 健康推進課職員 2)「麻しん・風しんの予防について」 健康推進課職員 3)「流行する感染症対策の備え(学習)と訓練(嘔吐物 処理実演)」 ・標準予防策・今年度の流行感染症・通年流行する 感染症等について ・個人防護具の着脱・吐物処理演習 公立つるぎ病院 感染管理認定看護師	保育所・幼稚園 認定こども園職 員 市町担当者	57名
令和7年10月27日(月) 13:30~16:00 石川県リハビリテーション センター(ハイブリッド開 催)	1)「感染症集団発生時の情報把握と報告について」 健康推進課職員 「高齢者施設感染症対応力強化事業について」 健康推進課職員 2)「高齢者・障害者施設での結核対策」 健康推進課職員 3)「流行する感染症対策の備え(学習)と訓練(嘔吐物 処理実演)」 ・標準予防策・今年度の流行感染症・通年流行する 感染症等について ・個人防護具の着脱・吐物処理演習 公立つるぎ病院 感染管理認定看護師	高齢者福祉施設 職員 障害福祉施設職 員 市町担当者	82名

(6) 感染予防のための施設巡回指導

表8 施設巡回指導の実施状況

(令和7年度)

実施日	施設数
認可外保育所	8ヶ所

※公立保育所は最低基準検査、法人保育所は指導監査と併せて感染症予防の指導を実施

(7) 感染症に関する健康教育

表9 健康教育の実施状況

(令和7年度)

日時・会場	対象	内容	参加人数
令和7年10月14日 13時30分～14時30分 金沢南ケアハウス	施設職員	講義：高齢者施設における基本的な感染症対策について	10名
令和7年12月12日 17時00分～17時10分 FMかほく 電話出演	ラジオリスナー	インフルエンザ、急性呼吸器感染症の予防について	
令和7年12月17日 10時15分～11時 FM-N1	ラジオリスナー	インフルエンザ、急性呼吸器感染症の予防について	

(8) 「新興感染症患者の移送に係る協力に関する覚書」についての消防との連絡会

表10 連絡会・訓練の実施状況

(令和7年度)

日時・会場	対象	内容	参加人数
令和7年11月20日 10時00分～11時00分 石川県リハビリテーションセンター	消防署員	・新興感染症患者の移送に係る協力に関する覚書について ・意見交換	4名

3 エイズ・性感染症予防

(1) エイズ相談・検査

表1 エイズ相談・検査実施状況

(件)

区分 年度	地 域 別	相 談 受 付 件 数			相 談 内 容 (再掲)		検査(再掲)	相 談 方 法 (再掲)	
		男	女	計	相談のみ	検査依頼	迅速検査	来 所	電 話
令和2年度	石川中央	47	32	80※	11	69	64	69	11
	河北地域センター	5	0	5	1	4		4	1
令和3年度	石川中央	81	43	124	3	121	105	121	3
	河北地域センター	1	3	4	0	4		4	0
令和4年度	石川中央	144	64	208	1	207	176	207	1
	河北地域センター	11	6	17	0	17		17	0
令和5年度	石川中央	151	62	213	2	211	165	211	2
	河北地域センター	6	6	12	0	12		12	0
令和6年度	石川中央	142	39	182※	7	175	140	175	7
	河北地域センター	8	4	12	0	12		12	0
令和7年度	石川中央	127	38	166※	14	152	114	152	14
	河北地域センター	5	1	6	0	6		6	0

※性別不明1を含む

(2) 性感染症相談

表2 性感染症相談状況

(件)

区分 年度	地 域 別	相 談 件 数			検 査 受 付 件 数 (再 掲)			相 談 方 法 (再 掲)		
		男	女	計	男	女	計	来 所	電話・メール	計
令和2年度	石川中央	39	36	75	34	25	59	59	16	75
	河北地域センター	4	4	8	3	4	7	7	1	8
令和3年度	石川中央	70	38	108	67	38	105	105	3	108
	河北地域センター	1	2	3	1	2	3	3	0	3
令和4年度	石川中央	142	64	206	140	63	203	203	3	206
	河北地域センター	11	6	17	11	6	17	17	0	17
令和5年度	石川中央	149	56	205	145	55	200	200	5	205
	河北地域センター	7	7	14	7	7	14	14	0	14
令和6年度	石川中央	134	39	174※	124	37	161	161	13	174
	河北地域センター	7	4	11	7	4	11	11	0	11
令和7年度	石川中央	123	38	162※	109	37	146	146	16	162
	河北地域センター	6	1	7	6	1	7	7	0	7

※性別不明1を含む

(3) エイズ・性感染症予防に関する普及啓発

ア 講演会

目 的：生と性の健康について考える機会を提供し、性感染症に関する正しい知識や予防法について啓発するとともに、命の大切さを学び、豊かな人間形成に資する機会とする。

日 時：令和7年7月2日(水)10：00～11：00

場 所：石川県立明和特別支援学校

対象者：高等部1年生47名、保護者2名（計49名）

講 師：助産師 川島 真希 氏

内 容：生と性の学習会

「大切なあなたのことを話そう」

イ 普及啓発・広報

① 「H I V検査普及週間（6月1日～7日）」のP R

内 容：HIV検査、エイズ予防に関するリーフレットやポケットティッシュを所内に設置
受検者にリーフレットやポケットティッシュを配布
ホームページにHIV検査普及週間に関する内容を掲載

② ラジオ（FMかほく、FM-N1）での広報

内 容：エイズ予防について

③ 「世界エイズデー（12月1日）」のP R

内 容：世界エイズデー及びエイズ・性感染症相談検査の普及啓発
ポケットティッシュの配布（管内大学5校、自動車学校2校）所内にポスター掲示
ホームページに掲載

④ 成人式でのチラシの配布

内 容：保健所のエイズ検査のP R 等

4 ウイルス性肝炎対策

(1) ウイルス性肝炎相談・検査

肝炎ウイルス検査は、40歳以上の者を対象に平成14年度から実施しており、平成15年度からは、40歳未満の者に対し有料検査が追加されていたが、平成19年12月からは、40歳未満の者に対しても無料で検査を実施している。

表 1 ウイルス性肝炎相談・検査実施状況（保健福祉センター実施分）（件）

区 分 年 度	地 域 別	相談件数	血液検査受付件数		
			男	女	計
令和2年度	石 川 中 央	40	22	14	36
	河北地域センター	3	3	0	3
令和3年度	石 川 中 央	74	43	31	74
	河北地域センター	2	1	1	2
令和4年度	石 川 中 央	147	101	46	147
	河北地域センター	16	11	5	16
令和5年度	石 川 中 央	143	99	43	142
	河北地域センター	11	5	6	11
令和6年度	石 川 中 央	124	91	32	123
	河北地域センター	10	6	4	10
令和7年度	石川中央	117	71	39	110
	河北地域センター	5	3	2	5

(2) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業

平成20年4月より、県民の肝炎ウイルス検査の受診機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図る事を目的として、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業が始まり、医療機関においても無料で検査を実施できるようになった。

検査の対象者は、県内（金沢市を除く）に居住する20歳以上の希望者で、過去に肝炎ウイルス検査を受けた事がなく、健康増進法その他の法令に基づく事業において肝炎ウイルス検査の受診の機会がなかった者である。平成29年度より、職場の健康診断と同時に実施した場合も対象となった。

表 2 肝炎ウイルス検査実施状況（医療機関委託分）（件）

区 分 年 度	受検者数	陽性者数	
		B型肝炎	C型肝炎
令和2年度	256	0	5
令和3年度	209	2	1
令和4年度	181	2	2
令和5年度	221	1	1
令和6年度	410	7	3
令和7年度	309	0	1

（３）研修会

表 3 肝炎ウイルス感染者等支援事業（肝炎に関する講演会）

（令和7年度）

日時・会場	対象	研修内容	参加状況
令和 7 年 10 月 6 日（月） 14:00～16:00 石川県庁	・肝炎ウイルス感染者 ・感染者の家族等 ・管内市町肝炎対策担当者 ・保健所職員 等	講演 「B型肝炎、C型肝炎の最新の治療」 講師：金沢大学医薬保健研究域医学系 消化器内科学 准教授 島上 哲朗 先生 個別相談会	29 名 （個別相談会 2 名）

5 集団かぜ発生状況

当保健所管内における集団かぜの初発は、令和7年10月24日報告の津幡町立津幡南中学校で、終息は令和8年3月9日報告のかほく市立大海小学校であった。

表1 集団かぜ発生状況（令和7年度 集団かぜ発生状況報告要領）

	市 郡 別	施 設 数	発生 施設	初 発 時 の 措 置 状 況			
				休 校	学年閉鎖	学級閉鎖	授業 打切
幼 稚 園	白山市	5	－	－	－	－	－
	野々市市	1	1	－	－	1	－
	かほく市	0	－	－	－	－	－
	津幡町	1	1	－	1	－	－
	内灘町	0	－	－	－	－	－
小 学 校	白山市	19	11	－	6(3)	5(4)	7
	野々市市	5	3	－	－	3(2)	2
	かほく市	6	6	－	2(1)	4(2)	3
	津幡町	9	8	1(1)	5(4)	2(1)	6
	内灘町	7	5	－	2(2)	3(3)	5
中 学 校	白山市	9	5	－	1(1)	3(2)	4
	野々市市	2	2	－	－	1(1)	2
	かほく市	3	3	－	－	2(1)	2
	津幡町	2	2	－	－	1(1)	2
	内灘町	2	1	－	－	1(1)	1
高等学校	白山市	4	3	－	1(1)	2	1
	野々市市	1	－	－	－	－	－
	かほく市	0	－	－	－	－	－
	津幡町	2	2	－	－	2	－
	内灘町	1	1	－	－	1(1)	1
合 計		79	54	1	18	31	36

*（）内は規模の大きい措置に移行した数。

表2 インフルエンザによる死亡数（死亡率 人口10万対）

年	全 国	石 川 県	管 内
H26	1, 130 (0.9)	7 (0.6)	0 (0.0)
H27	2, 261 (1.8)	15 (1.3)	1 (0.4)
H28	1, 463 (1.2)	10 (0.7)	4 (1.5)
H29	2, 569 (2.1)	20 (1.8)	3 (1.1)
H30	3, 325 (2.7)	20 (1.8)	5 (1.9)
R元	3, 575 (2.9)	20 (1.8)	2 (0.8)
R2	956 (0.8)	5 (0.4)	2 (0.8)
R3	22 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
R4	24 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
R5	1, 383 (1.1)	14 (1.3)	0 (0.0)
R6	2, 857 (2.4)	20 (1.9)	2 (0.8)

*資料：厚生労働省「人口動態総覧」

第3節 精神保健福祉

1 精神障害者受療状況

表1-1 精神障害者受療状況（精神入院）

（令和7年度）（人）

		措置入院	医療保護入院						入院計
		管内	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町	管内計
総数		8	631	105	255	110	87	74	639
症状性を含む器質性精神障害	(F0)	0	299	53	130	42	38	36	299
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	(F1)	0	19	0	7	4	5	3	19
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	(F2)	3	123	16	52	26	20	9	126
気分（感情）障害	(F3)	2	121	26	40	27	15	13	123
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	(F4)	0	30	3	6	6	3	12	30
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	(F5)	0	9	1	4	2	2	0	9
成人の人格及び行動の障害	(F6)	2	3	3	0	0	0	0	5
知的障害（精神遅滞）	(F7)	0	13	1	11	1	0	0	13
心理的発達の障害	(F8)	1	12	0	5	2	4	1	13
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	(F9)	0	2	2	0	0	0	0	2
詳細不明の精神障害	(F99)	0	0	0	0	0	0	0	0
神経梅毒、進行麻痺	(A52)	0	0	0	0	0	0	0	0
てんかん	(G40)	0	0	0	0	0	0	0	0

表1-2 自立支援医療受給者証交付状況（精神通院）

（令和7年度）（件）

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町	不承認
受給者数	4,321	641	1,804	918	555	403	0

2 精神障害者保健福祉手帳交付状況

表2 精神障害者保健福祉手帳交付状況

（令和7年度）（件）

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
計	1,709	209	752	350	229	169
1 級	55	7	22	10	10	6
2 級	1,436	178	634	280	201	143
3 級	218	24	96	60	18	20

※ 1 級：精神障害であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの

2 級：精神障害であって、日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの

3 級：精神障害であって、日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

有効期間は2年間であり、令和7年4月1日～令和8年3月末までに交付を受けた者の総数を記載。

3 精神保健福祉相談及び訪問指導 *住所別で計上（河北郡市…かほく市、内灘町、津幡町）

表 3-1 精神保健福祉相談件数 (令和 7 年度) (件)

	計		白山野々市地区		河北郡市		管外・住所不明	
	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数
電 話 相 談		1,529		942		479		108
メ ー ル 相 談		77		65		10		2
来 所 相 談	84	163	60	128	16	26	8	9
訪 問 指 導	64	344	35	198	27	143	2	3
計	148	2,113	95	1,333	43	658	10	122

表 3-2 精神保健福祉相談件数の年齢別 (延件数) (令和 7 年度) (件)

	計			白山野々市地区			河北郡市			管外・住所不明		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	78	17	4	69	16	4	7	1	0	2	0	0
20～29歳	225	43	27	65	31	16	118	9	9	42	3	2
30～39歳	227	29	77	172	24	64	49	5	12	6	0	1
40～49歳	382	24	96	282	19	46	96	1	50	4	4	0
50～59歳	289	32	95	118	23	40	165	9	55	6	0	0
60～69歳	160	7	11	155	6	10	4	1	1	1	0	0
70歳～	97	9	33	59	8	18	33	0	15	5	1	0
不 明	71	2	1	22	1	0	7	0	1	42	1	0
計	1,529	163	344	942	128	198	479	26	143	108	9	3

※メール相談含まず

表 3-3 精神保健福祉相談件数の内容別 (延件数) *複数選択 (令和 7 年度) (件)

	計			白山野々市地区			河北郡市			管外・住所不明		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
老人精神保健	9	0	1	2	0	0	5	0	1	2	0	0
社 会 復 帰	535	65	82	329	60	65	183	4	17	23	1	0
ア ル コ ー ル	24	2	2	18	0	2	4	1	0	2	1	0
薬 物	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
ギ ャ ン プ ル	12	16	0	8	14	0	3	2	0	1	0	0
ゲ ー ム	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
思 春 期	59	10	1	56	9	1	3	1	0	0	0	0
心の健康づくり	798	61	239	479	37	121	251	18	115	68	6	3
うつ・うつ状態	57	2	13	28	2	5	27	0	8	2	0	0
摂 食 障 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
て ん か ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	32	4	6	19	3	4	3	0	2	10	1	0
計	1,529	163	344	942	128	198	479	26	143	108	9	3

※メール相談 77 件 (別掲)

	計	白山野々市地区	河北郡市	管外・住所不明
社 会 復 帰	53	53	0	0
心の健康づくり	15	5	8	2
そ の 他	9	7	2	0
計	77	65	10	2

表 3－4 精神保健福祉相談件数の診断別（延件数）＊診断名はICD10に準ずる

（令和 7 年度）（件）

	計		白山野々市地区		河北郡市		管外・住所不明	
	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導
症状性を含む器質性精神障害（F 0）	0	7	0	6	0	1	0	0
精神作用物質使用による精神および行動の障害（F 1）	1	21	0	21	0	0	1	0
統合失調症、統合失調型障害および身体表現性障害（F 2）	30	126	28	48	2	78	0	0
気分障害（F 3）	17	66	13	48	3	18	1	0
神経症性障害、ストレス関連障害身体表現性障害（F 4）	6	26	6	16	0	10	0	0
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群（F 5）	10	0	10	0	0	0	0	0
成人のパーソナリティおよび行動の障害（F 6）	13	11	13	9	0	0	0	2
精神遅滞（知的障害）（F 7）	0	17	0	4	0	13	0	0
心理的発達の障害（F 8）	2	0	2	0	0	0	0	0
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害（F 9）	11	2	11	1	0	1	0	0
てんかん（G 4 0）	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
保 留	34	63	21	40	11	22	2	1
不 明	39	5	24	5	10	0	5	0
計	163	344	128	198	26	143	9	3

4 ひきこもり社会参加復帰支援事業

ひきこもりに関する相談指導や家族交流会等を実施することにより、潜在するひきこもりを早期に発見し、適切な支援機関に早期につながぐことで社会参加の促進を図る。

表4-1 ひきこもりに関する相談状況 (令和7年度) (件)

	計			白山野々市地区			河北郡市			管外・不明		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
実人数	29	17	8	21	15	6	4	0	2	4	2	0
延人数	144	40	67	116	37	57	10	0	10	18	3	0

表4-2 家族交流会（ひきこもりの子どもを持つ親の会）

【定例会】会場：①は石川中央保健福祉センター、②は河北地域センターにて開催 (令和7年度)

開催回数	参加人数	日時	内容
① 3回 ② 0回	① 実 13人 延 16人 ② 実 0人 延 0人	① 毎月第2金曜日 14:00～15:30 ② 奇数月第3金曜日 14:00～15:30	当事者による経験談の発表、座談会、個別相談等

5 精神障害者地域生活支援事業

精神に障害がある方が自分らしく暮らすことができるよう、障害保健福祉圏域ごとの協議の場を通じて、関係機関が連携できる体制を構築し、地域生活支援体制の整備に資する取り組みを推進する。

また、支援活動を行うにあたり、地域で生活する当事者をピアサポーターとして県で養成し、対象者や家族に対し、地域移行に関する相談・助言を行う。なお、令和7年度のピアサポーターの登録者数は20名となっている。

表5 地域連携会議

(令和7年度)

開催日時	参集者	参加者数	主な内容等
令和7年11月17日(月) 13:30～15:30	石川中央圏域の市町、医療機関、相談支援事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション等	83人	地域生活の定着をめざして～世帯を支えるための支援者連携～をテーマに事例報告とグループワーク・発表を実施
令和8年3月5日(木) 13:30～15:30	石川中央圏域の市町、医療機関、相談支援事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション等	80人	・講義 「石川県における精神障害者地域生活支援事業体制について」 ・報告 「各市町の精神保健相談支援体制の現状について」 ・グループワーク 「地域の支援体制の構築について」

6 自殺防止対策事業

自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、「自殺対策行動計画」に基づき、各重点施策等を実施し、自殺者数の減少等を図る。

表6-1 ゲートキーパー等養成事業の開催状況

各種相談担当者のみならず、広く一般の人々に自殺予防に関する理解を深め、身近な人の異変に気づき、声をかけ、話を聴き、適切な相談先を紹介できる人（ゲートキーパー）を養成する。

(令和7年度)

日時	対象者	内容	参加人数
令和7年10月10日(金)	かほく市民	ゲートキーパー養成講座	37人

表6-2 若い世代の心の健康づくり事業の開催状況

協力が得られた大学や専門学校等の学生に対し、ゲートキーパー養成講座やキャンペーンを実施し、普及啓発と自殺予防の人材育成を図る。

(令和7年度)

月日	対象者	内容	参加人数
令和7年7月22日(火)	金沢大学専攻科	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	4人
令和7年9月11日(木)	金城大学専攻科	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	11人
令和7年11月19日(水)	県立中央病院研修医	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	2人
令和7年12月2日(火)	県立看護大学2年生	こころの健康づくり (ゲートキーパー講座)	78人

表6-3 街頭キャンペーン

項目	内容
① 日時	令和7年10月16日(木) 7:00~7:45
② 会場	J R松任駅改札口付近
③ 対象者	一般住民約200名
④ 共催	白山市障害福祉課
⑤ 内容	県の自殺予防グッズおよび市作成のクリアファイルを、若者中心に配布。

表6-4 依存症教室

項目	内容
① 日時	令和7年12月19日(金) 14:00~16:00
② 会場	石川県庁711会議室
③ 参加者	7名(家族・支援者)
④ 内容	講話「さまざまなアディクションとその理解」 講師：北陸HIV情報センター 西念 奈津江氏

表6-5 うつ病家族教室

項目	内容
【松任地区】	
① 日時	令和7年10月30日(木) 14:00~16:00
② 会場	白山市健康センター松任
③ 参加者	19名
④ 講師	ときわ病院 竹内 良太郎氏
【河北地区】	
① 日時	令和7年11月7日(金) 14:00~16:00
② 会場	かほく市宇ノ気保健福祉センター
③ 参加者	9名
④ 講師	県立こころの病院 武田 卓朗氏

7 関係機関との連携

表7 関係機関との連携、会議等への出席状況

(令和7年度)

会議名	回数 (回)	出席 延人数 (人)	主 催	内 容
白山市地域生活部会	5	77	白山市	白山市における障害者のすまいのあり方に関する検討
白山市障害者計画策定委員会	2	28	白山市	白山市における障害者福祉の充実に向けた検討
白山市障害者差別解消のまちづくり支援協議会	1	15	白山市	白山市における障害者福祉の充実に向けた検討
白山市地域移行、地域定着支援会議	1	20	白山市	白山市における精神障害者地域包括ケアシステムに関する検討
白山市虐待防止ネットワーク運営委員会	2	71	白山市	白山市における障害福祉の充実に関する検討
白山市障害福祉サービスに係る事業所説明会	1	98	白山市	白山市における障害福祉サービスに関する説明会
野々市市障害者自立支援協議会	1	21	野々市市	野々市市における障害福祉の充実に関する検討
野々市市障害者自立支援協議会 精神包括ケア部会	2	14	野々市市	野々市市における障害福祉の充実に関する検討
野々市市虐待防止等協議会	1	24	野々市市	野々市市における障害福祉の充実に関する検討
野々市市虐待防止等協議会 障害者虐待防止部会	2	29	野々市市	野々市市における障害福祉の充実に関する検討
野々市市虐待防止等協議会 児童虐待・配偶者暴力防止部会	1	17	野々市市	野々市市における児童福祉等の充実に関する検討
野々市市自殺対策協議会	1	13	野々市市	野々市市における自殺対策計画に関する検討
かほく市地域自立支援協議会、 運営会議	4	55	かほく市	かほく市における障害福祉の充実に関する検討
かほく市高齢者および障害者虐待 防止協議会	1	19	かほく市	かほく市における障害福祉の充実に関する検討
かほく市精神障害者にも対応した 地域包括ケアシステム構築連絡会	2	21	かほく市	かほく市における精神障害者地域包括ケアシステムに関する検討
津幡町障害者地域自立支援協議会	2	31	津幡町	津幡町における障害者福祉全体の充実に関する検討
内灘町自立支援協議会	2	27	内灘町	内灘町における障害者福祉の充実に関する検討
MJカンファレンス	1	16	松原病院・ 城北病院	身体科と精神科の連携に関する検討・意見交換
白山野々市、河北保護区地域援助 支援ネットワーク会議	2	20	金沢 保護観察所	白山野々市、河北保護区における地域援助支援ネットワークの検討
石川県てんかん治療地域連携協議会 世話人会	1	13	石川県てんかん 治療連携協議会	てんかん治療の地域連携体制の検討
ケース会議	29	239	市町	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討

ケース会議	21	190	病院	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	2	9	石川中央 保健福祉 センター	個別ケースの支援方法や役割分担等について検討

第 4 節 難 病

1 相談指導事業

表 1 患者、家族のつどい・相談会・研修会（関係者研修会も含む）

（令和 7 年度）

日時及び会場	テ ィ マ ・ 内 容	参加者及び出務者数
令和 7 年 10 月 30 日（木） 13：30～15：30 石川県リハビリテーション センター	パーキンソン病の患者・家族のつどい 内容 ・講演「体調に合わせて身体を動かし、元気に日常生活を送ろう！！」 講師 石川県リハビリテーションセンター 平木 理学療法士 ・交流会、質疑応答	20名 （患者、患者家族、支援機関）
令和 7 年 12 月 6 日（土） 10:00～12:15 石川県庁	IgA腎症の患者・家族のつどい 内容 ・講演「IgA腎症の最近の知見と最新の治療法」 講師 金沢医科大学 腎臓内科学 教授 古市 賢吾 医師 ・交流会、質疑応答	8名 （患者、患者家族、ケアマネ ジャー）
令和 8 年 2 月 12 日（木） 14：00～16：15 石川県立図書館	難病患者支援者研修会 内容 【第1部】 ・講演「個別避難計画の立案の取組み ―たいせつないのちを守るために私たちができること―」 講師 医王病院 主任医療社会事業専門職 中本 富美 氏 ・意見交換 等 【第2部】 ・情報交換、意見交換 等 （避難行動要支援者名簿、個別避難計画について）	18名 （行政機関、支援機関）

表2 相談実施状況

疾患名		相談延件数 ()内は 実人数	受給者 証所持 者数	指導内容（重複可）												応接人員別			出務者別（延人員）					相談契機					相談件数				
				申 請 等	医 療	病 気 ・ 病 状	精 神 的 支 援	家 庭 看 護	福 祉 制 度	就 労 ・ 就 学	リ ハ ビ リ	食 事 ・ 栄 養	歯 科	患 者 会 等	災 害 対 策	そ の 他	本 人	家 族	そ の 他	医 師	作 業 療 法 士	保 健 師	栄 養 士	事 務 担 当 者	そ の 他	本 人 ・ 家 族	医 療 機 関	介護保 険関連 所事	市 町	保 健 所	そ の 他	来 所 相 談	電 話 相 談
総 計		3,746 (2,601)	2,421	3,706	3	32			6	2	2	3			14	2,743	1,279	88			2,687		1,059		3,669	16	30		7	24	3,179	567	
1	神 経 ・ 筋 疾 患	929 (584)	552	895	3	23		6	6	2	2	3			9	9	440	554	53			671		258		883	5	26		7	8	761	168
2	代 謝 系 疾 患	62 (43)	47	62													45	25				44		18		62						56	6
3	染色体・遺伝子異常	8 (6)	4	8													8					7		1		8						8	
4	免 疫 系 疾 患	668 (455)	487	667												1	571	163	4			494		174		663	3				2	586	82
5	循 環 器 系 疾 患	99 (71)	75	99													75	35	3			74		25		97	1				1	92	7
6	消 化 器 系 疾 患	671 (488)	541	670		4										1	583	132	3			481		190		666	1	1			3	608	63
7	内 分 泌 系 疾 患	119 (76)	85	118												1	96	32	3			75		44		116		2			1	106	13
8	血 液 系 疾 患	135 (82)	85	135													98	44	5			97		38		134		1				122	13
9	腎 泌 尿 器 系 疾 患	162 (107)	130	162													136	47	2			117		45		160					2	146	16
10	呼 吸 器 系 疾 患	189 (116)	123	187		1										1	132	81	3			119		70		184	1				4	159	30
11	皮 膚 ・ 結 合 組 織 疾 患	55 (36)	34	55													42	16	1			39		16		55						44	11
12	骨 ・ 関 節 系 疾 患	188 (119)	126	188		3											143	56	5			137		51		182	4				2	161	27
13	聴覚・平衡機能系疾患	122 (87)	93	122		1											110	14	1			83		39		121	1					111	11
14	視 覚 系 疾 患	23 (18)	25	23													17	10				12		11		23						22	1
	劇 症 肝 炎	4 (2)	2	4													4					3		1		4						4	
	先天性血液凝固因子障 害	12 (11)	12	12													12	1				6		6		12						12	
	そ の 他	1 (1)		1													1					1			1								1
	不 明	299 (299)		298												1	230	69	5			227		72		298					1	181	118

* 受給者証所持者数とは、年度末時点での難病医療費助成制度の受給者証所持者数を計上している

令和7年度（単位：件）			
表3 相談方法（相談延件数）		総計	面接相談
			電話相談
管内計		3,746	3,179
石川中央		2,632	2,168
河北地域センター		1,114	1,011

3 訪問指導

表4 訪問指導実施状況

令和7年度（単位：件）

疾患番号	疾患名	訪問指導延件数 ()内は実人数	指導内容（重複可）											応接人員別			出務者別（延人員）						訪問指導経路						件数 チ ー ム 訪 問
			申 請 等	医 療 ・ 服 薬	病 気 ・ 病 状	精 神 的 支 援	福 祉 制 度	就 労 ・ 就 学	リ ハ ビ リ 養	食 事 ・ 栄 養	歯 科	患 者 会 等	そ の 他	本 人	家 族	そ の 他	医 師	作 業 療 法 士	保 健 師	栄 養 士	事 務 担 当 者	そ の 他	本 人 ・ 家 族	医 療 機 関	介 護 保 険 関 連 事 業 所	市 町 村	保 健 所	そ の 他	
	総 計	10 (5)		9	10	2	4	1	7	1			8	7	7			1	15				10						2
2	筋萎縮性側索硬化症	7 (3)		7	7	2	1		6				4	4	4				10				7						
6	パーキンソン病	1 (1)		1	1		1	1	1				1	1	1			1	2				1						1
113	筋ジストロフィー	2 (1)		1	2		2			1			3	2	2				3				2						1

4 事例検討会

表5 事例検討会

令和7年度（単位：人）

開催日時	参加者数	参加者内訳										テーマ・内容
		専門医療機関	地域医療機関	介護保険関連	訪問看護ステーション	市町村	難病相談支援センター	セリハビリーターション	その他の	本人・家族	保健福祉センター	
令和7年6月24日 14:00～15:00	10		3	2	1	1				2	1	神経難病患者の在宅療養・災害対策の検討

第5節 健康増進

1 健康教育

健康の保持増進や重症化予防、疾病や障害の正しい理解などを目的に、地域住民や特定の集団に対して、健康教育を行っている。

表1-1 健康教育実施状況

(令和7年度)

内容 回数・人員	感染症	再掲 エイズ	精神	難病	母子	成人・老人	栄養・健康増進	歯科保健	医事・薬事	食品衛生	環境	その他	総計	再掲 地区衛生組織
回数(回)	28	3	16	3	3	0	15	0	4	22	10	13	115	3
延人数(人)	695	159	1,030	44	70	0	1,992	0	204	2,867	387	376	7,665	24

表1-2 コミュニティFM局「えふえむ・エヌ・ワン(毎月第3水曜日)」「FMかほく(第2金曜日)」出演状況

(令和7年度)

年 月	テ ー マ
令和7年 4月	熱中症予防
5月	動物愛護について
6月	薬物乱用防止
7月	レジオネラ・温泉について
8月	食品衛生
9月	食生活について
10月	薬の正しい使い方
11月	エイズ予防について
12月	感染症予防について
令和8年 1月	食について
2月	産業廃棄物について
3月	メンタルヘルス・自殺予防

2 栄養改善

(1) 個別指導（巡回指導）

健康増進法第18条第1項第2号及び第22条に基づき特定給食施設等の指導を実施している。

表2 特定給食施設等巡回指導実施状況

(令和7年度)

施設の規模 施設の種類		特 定 給 食 施 設				そ の 他 の 給 食 施 設		施設合計数
		1回300食又は 1日750食以上		1回100食又は 1日250食以上				
		栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
学 校	施 設 数	20 (35.7)	11 (19.6)	10 (17.9)	10 (17.9)	1 (1.8)	4 (7.1)	56 (100.0)
	巡回指導数	8 (38.1)	5 (23.8)	4 (19.0)	2 (9.5)	0 (0.0)	2 (9.5)	21 (37.5)
病 院	施 設 数	3 (20.0)	0 (0.0)	6 (40.0)	0 (0.0)	6 (40.0)	0 (0.0)	15 (100.0)
	巡回指導数	3 (20.0)	0 (0.0)	6 (40.0)	0 (0.0)	6 (40.0)	0 (0.0)	15 (100.0)
介護老人 保健施設	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (71.4)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (14.3)	7 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	2 (28.6)
介護医療院	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	1 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
老人福祉 施 設	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (28.0)	0 (0.0)	15 (30.0)	21 (42.0)	50 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (36.4)	0 (0.0)	7 (31.8)	7 (31.8)	22 (44.0)
児童福祉 施 設	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	46 (56.1)	21 (25.6)	7 (8.5)	8 (9.8)	82 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	18 (58.1)	8 (25.8)	3 (9.7)	2 (6.5)	31 (37.8)
社会福祉 施 設	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	4 (57.1)	2 (28.6)	7 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	2 (28.6)
事 業 所	施 設 数	3 (11.1)	4 (14.8)	3 (11.1)	9 (33.3)	1 (3.7)	7 (25.9)	27 (100.0)
	巡回指導数	2 (13.3)	2 (13.3)	1 (6.7)	7 (46.7)	0 (0.0)	3 (20.0)	15 (55.6)
寄 宿 舎	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
一般給食セン ター	施 設 数	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (100.0)
	巡回指導数	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)
そ の 他	施 設 数	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.0)	0 (0.0)	8 (24.2)	24 (72.7)	33 (100.0)
	巡回指導数	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)	3 (27.3)	7 (63.6)	11 (33.3)
計	施 設 数	29 (10.2)	15 (5.3)	88 (31.1)	40 (14.1)	43 (15.2)	68 (24.0)	283 (100.0)
	巡回指導数	14 (11.6)	7 (5.8)	40 (33.1)	17 (14.0)	21 (17.4)	22 (18.2)	121 (42.8)

() 内は割合 (%)

3 健康増進

(1) 健康づくり

ア 地区組織への支援

- ① 石川中央食生活改善推進協議会総会・研修会（令和7年4月24日（木）、参加者35名）
- ② 石川中央食生活改善推進協議会研修会（令和7年9月1日（月）、参加者43名）
- ③ 石川中央食生活改善推進協議会役員会及び理事会、打ち合わせ（年4回、参加者延べ13名）

イ 歯と口腔の健康づくり支援事業

(ア) 歯周病予防対策研修会（参加者8名）

日時：令和7年12月11日（木）

内容：講演：「歯周病と糖尿病の関連について」

講師：石川県歯科医師会 公衆衛生担当理事 小林歯科医院 院長 小林 憲一 氏

(イ) 歯と口腔の健康づくり推進会議（参加者13名）

日時：令和7年12月11日（木）

内容：（1）報告・情報交換

管内の歯科保健の現状

石川県の歯科保健事業の取り組み

石川県歯科医師会の取り組み

（2）意見交換：ライフステージごとの取り組み状況について各市町の現状と課題

ウ 働く世代の健康応援事業

表3 健康づくり優良企業（知事表彰）

（令和7年度）

企業名	取組内容
株式会社アルエム	・運動機会の増進とコミュニケーションの促進 ・特定保健指導の実施率向上のための取組 ・インフルエンザ等感染拡大防止のための特別休暇制度の整備
生活協同組合コープ いしかわ	・メンタルヘルスケアに関する知識や対応力の向上と不調者減に向けた対策強化 ・女性社員が長く安心して働き続けられるよう健診体制の強化 ・運動機会の提供とコミュニケーションの促進
株式会社中部機械 サービス	・運動機会の増進とコミュニケーションの促進 ・特定保健指導の実施率向上のための取組 ・インフルエンザ等感染拡大防止のための特別休暇制度の整備
株式会社中部機械 製作所	・運動機会の増進とコミュニケーションの促進 ・特定保健指導の実施率向上のための取組 ・インフルエンザ等感染拡大防止のための特別休暇制度の整備
株式会社BBS 金明	・運動習慣やセルフケア実施率の目標を掲げ、運動機会や健康管理の体制を整備 ・職員のコミュニケーション促進 ・歯と口腔の健康に向けた取組

エ 「健康づくり応援の店」推進事業

表4 「健康づくり応援の店」登録店舗

(令和7年度)

市町	登録数	登録店舗名
かほく市	3	レストランカチューナ、イタリアンカフェぶどうの森イオンモールかほく店、 (社)四恩会ライフクリエートかほく喫茶「ハニーホーム」
白山市	6	つるぎ福喜寿司、河内じばさん、食彩館せせらぎ、麵処 こよみ、おそば屋 小幸、 カフェブアップ
野々市市	2	クアン アン ベトナム ムサク☆、サブウェイ野々市若松店
津幡町	1	GRILL せど
内灘町	3	和乃食はねや、はづ貴、レストラン ロンシャン
合計	15	

① 登録更新施設件 3件

② 廃止施設 0件

(2) 食育の推進

① 地域版食育推進計画 6団体(令和7年度活動団体)

地域における健全な食生活の実施を図るため、地域の各種団体・機関等(町内会、公民館、女性団体、PTA等)が地域住民等に向けた食育に関する計画を地域版食育推進計画という。

表5 地域版食育推進計画

(令和7年度)

団体名	所在地	認定年度
いのくち遊美の里会	白山市	平成21年度
特定非営利活動法人 学童会つるぎ	白山市	平成29年度
カメラ・パルの会	野々市市	令和4年度
蕪城さくらクラブ	白山市	令和6年度
第二蕪城あさがおクラブ	白山市	令和6年度
つばきこども食堂	かほく市	令和7年度

② 子ども食育応援団 2団体(いのくち遊美の里会、学童会つるぎに協力している団体)

地域版食育推進計画に基づく取組に協力する事業所等で、特に子どもに対する食育の推進に取り組む事業所等を子ども食育応援団という。

表6 子ども食育応援団

(令和7年度)

団体名	所在地	認定年度
農事組合法人井ログリーンワークス	白山市	平成22年度
白山市食生活改善推進協議会鶴来ブロック	白山市	令和7年度

③ いしかわ食育手伝い隊

地域で行われる食育活動を手伝うことができる事業所や個人をいしかわ食育手伝い隊という。

登録団体：13 団体 個人：5 名

④ いしかわ食育コーディネーター

地域の食育を推進していくため、地域版食育推進計画の立案の助言や活動の支援を行う。

管内食育コーディネーター：7 名

(3) 栄養成分表示

食品表示法の施行に伴う新たな食品表示制度への切り替えは令和 2 年 4 月 1 日から実施され、栄養成分表示は義務化となった。研修会での講師、来所や電話による個別の相談等随時対応している。

① 食品衛生責任者研修会における講義

回数：7 回

受講者数：1,626 人

② 食品表示基準に基づく指導 件数：3 件

③ 個別相談 件数：7 件

(4) いしかわヘルシー&デリシャスメニュー普及事業

生活習慣病予防に欠かせない適切な食生活が送れるよう、これまでに開発した「いしかわヘルシー&デリシャスメニューを「外食」「中食」「内食」の全ての食事の機会へ普及を図り、食に関する生活習慣の改善に総合的に取り組む。

① 外食（社員食堂等）への普及（わが社のヘルシー&デリシャスメニュー） 3 企業

協力企業：ホクショー株式会社 （給食受託会社 ㈱魚国総本社）

高松機械工業株式会社あさひ工場 （給食受託会社 グリーンホスピタリティフードサービス株式会社）

高松機械工業株式会社本社 （給食受託会社 グリーンホスピタリティフードサービス株式会社）

② 野菜 1 品プラス運動（実施主体：石川県）

内容：ポスター等による普及啓発

期間：8 月 31 日～9 月 30 日

(5) 受動喫煙対策

令和 2 年 4 月 1 日より健康増進法の一部を改正する法律（以下「改正法」）が全面施行された。改正法は、望まない受動喫煙の防止を図るため、多くの方が利用する施設の区分に応じ、施設の一定の場所を除き喫煙を禁止し、管理権限者が講ずべき措置等について定めている。保健所では、来所や電話による個別相談、現地確認・指導等随時対応している。

① 食品衛生責任者研修会における講義

回数：7 回

受講者数：1,626 人

② 個別相談 件数：2 件

③ 現地確認及び指導 件数：19 件

(6) 国民健康・栄養調査

国民の身体状況、栄養等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、健康増進法に基づき実施している。

① 調査地区及び対象者

野々市市位川地区の一部

(令和7年国民生活基礎調査により設定された単位区から無作為抽出した300単位区内の世帯及び当該世帯の1歳以上の世帯員を調査客体とされた)

② 調査項目

ア 身体状況調査

- ・身長、体重(満1歳以上)
- ・腹囲、血圧、血液検査、問診(服薬状況、糖尿病治療の有無、運動等)(満20歳以上)

イ 栄養摂取状況調査

- ・世帯状況、食事状況(1日分)、食物摂取状況(1日分)(満1歳以上)
- ・1日の身体活動量(歩数)(満20歳以上)

ウ 生活習慣調査(満20歳以上)

- ・健康づくりにおけるICT利活用の状況、歯の健康、休養(睡眠)、飲酒、喫煙の状況等

③ 調査方法

事前に調査説明会を開催し、調査の趣旨、内容、実施方法、各調査票の記入方法等を説明した。

④ 調査結果

調査の実施状況及び調査結果は、表7のとおり。また、実施後は各世帯へ身体状況や血液検査の結果と栄養摂取状況結果を通知した。

表7 国民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査実施状況

(令和7年度)

調査地区	調査項目	調査日	調査内容	対象者	調査実施数	実施率
野々市市	身体状況調査	11月16日(日)	身長・体重、腹囲、血圧、問診 (腹囲、血圧、問診は20歳以上)	22人 ※1歳以上	11人	50.0%
			血液検査(20歳以上)	22人	9人	40.9%
	栄養摂取状況調査	事前に記入、調査日に持参	世帯状況、食事状況、食物摂取状況、1日の身体活動量(歩数)	15世帯	7世帯	46.7%
	生活習慣調査	同上	睡眠の状況、就業又は地域活動への参加状況、飲酒の状況、喫煙の状況等(20歳以上)	22人	11人	50.0%

第6節 骨髄バンク

毎年数万人が白血病などの重い血液の病気と診断され、そのうち約2,000人の方が骨髄バンクドナーからの移植を望んでいる。

骨髄移植を行うためには、患者と骨髄提供者（ドナー）との白血球の型（HLA）が一致しなければならないが、その確率は数百から数万分の一と低い。また適合しても、ドナーの都合や健康条件が整わなければ提供はできず、移植を待つ患者のうち、実際に移植を受けられる人は半数程度にとどまっているのが実情である。

そこで、当保健福祉センターにおいては、骨髄バンク相談や、移動献血会場でのドナー登録受付を実施し、できるだけ多くの方に登録していただけるよう呼び掛けている。

表1 骨髄提供希望者（ドナー）登録状況

（人）

年度	骨髄バンク相談	移動献血（併行）	休日集団登録 （白山市健康まつり）	計
平成26年度	0	0	0	0
平成27年度	0	0	3	3
平成28年度	0	2	1	3
平成29年度	0	22	4	26
平成30年度	0	4	1	5
令和元年度	0	59	4	63
令和2年度	1	4	0	5
令和3年度	2	0	0	2
令和4年度	0	5	0	5
令和5年度	1	35	献血の実施なし	36
令和6年度	1	46	実施なし	47
令和7年度	0	60	実施なし	60

第7節 被爆者健康診断

被爆者健康診断は、視診・問診・聴診・打診及び触診による検査、CRP検査、血球数計算、血色素検査、尿検査、血圧測定を行っている。また、医師が必要と認めた場合はAST、ALT及びγ-GTP検査法による肝臓機能検査、ヘモグロビンA1c検査を行っている。

当所の健康診断で要精検と判定された者については、県健康福祉部健康推進課が精密検査を実施する。

表1 被爆者健康診断実施状況

(令和7年度)

会 場	対象者数	実施日	受診者数	判 定	
				異常なし	要精密検査
石川中央保健福祉センター	1	6月26日(木)	0	—	—
	0	12月4日(木)	0	—	—
河北地域センター	2	6月26日(木)	0	—	—
	2	12月4日(木)	0	—	—

第8節 アスベスト（健康相談・救済）

石綿を原因とする中皮腫、肺がんについては、石綿に暴露してから30～40年という非常に長い期間を経て発病することや、石綿が長期間にわたってわが国の経済活動全般に幅広くかつ大量に使用されてきたこと等から、個々の健康被害の原因者を特定することが困難であり、一旦発症した場合には、多くの方が1,2年で亡くなられるのが実態である。

石綿による健康被害の救済制度は、石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けられた方及びそのご遺族の方で、労災補償等の対象とならない方に対し救済を図ることを目的として、「石綿による健康被害の救済に関する法律」（平成18年2月に制定）に基づき創設された。

当保健所でも救済給付受付や健康相談に応じている。

表1 石綿に係る救済給付の認定申請状況 (件)

年度		療養手当請求	特別遺族 弔慰金請求	合計申請件数	相談件数
平成28年度	石川中央	0	0	0	0
	河北地域センター	0	0	0	0
平成29年度	石川中央	0	0	0	0
	河北地域センター	0	0	0	0
平成30年度	石川中央	0	0	0	2
	河北地域センター	0	0	0	0
令和元年度	石川中央	1	0	1	1
	河北地域センター	0	0	0	0
令和2年度	石川中央	0	0	0	2
	河北地域センター	0	0	0	0
令和3年度	石川中央	3	0	3	3
	河北地域センター	0	0	0	0
令和4年度	石川中央	0	0	0	0
	河北地域センター	0	0	0	0
令和5年度	石川中央	0	0	0	1
	河北地域センター	0	0	0	0
令和6年度	石川中央	1	0	1	1
	河北地域センター	0	0	0	0
令和7年度	石川中央	3	0	3	6
	河北地域センター	0	0	0	0

第 4 章 地域保健福祉の推進

第1節 健康危機管理

1 健康危機管理に関する研修会・連絡会

表1 研修会の開催状況

(令和7年度)

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加 人数
令和7年6月19日(木) 14:00~16:00 石川中央保健所	「健康危機管理体制に係る所内研修・訓練」 ・防護服着脱訓練 ・患者搬送について	保健所職員	13名
令和7年7月28日(月) 14:00~16:00 石川中央保健所	「健康危機管理体制に係る所内研修・訓練」 ・災害時の県職員・保健所職員の対応について ・アクションカードについて ・通信機器の取扱いについて ・アクションカードを用いた実動訓練	保健所職員	22名
令和7年11月17日(月) 14:00~16:00 石川中央保健所	「健康危機管理体制に係る所内研修・訓練」 ・復命「DHEAT 基礎研修」「東海北陸ブロック DHEAT 研修」 ・アクションカード【各課業務編】について ・AED の使い方について	保健所職員	23名
令和7年12月18日(木) 10:00~11:00 石川中央保健所	「健康危機管理体制に係る所内研修・訓練」 ・鳥インフルエンザについて	石川中央保健福祉 センター職員 河北地域センター 職員	25名
令和7年12月23日(火) 13:30~15:30 石川中央保健所	「健康危機管理体制に係る所内研修・訓練」 ・食中毒について ・IHEAT 要員との交流会	石川中央保健福祉 センター職員 IHEAT 要員	17名

表2 連絡会の開催状況

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加 人数
令和8年1月28日(水) 10:00~12:00 石川県庁	「災害時の保健活動連絡会」 ・災害時の保健医療福祉活動体制の強化について ・かほく市の取り組みについて アクションカード・マニュアル作成 保健医療福祉班の立上げ訓練 避難所における保健活動訓練	管内市町災害時 保健活動担当者	15名

第1回 令和7年6月30日(月) 14:00～16:00	「管内行政栄養士連絡会」 第1回 ・災害対応の栄養士業務について 第2回 ・栄養・食生活支援初動対応（アクションカード）の検討 ・栄養・食生活支援初動対応（アクションカード）の検討 ・災害時のアレルギー対応について 第3回 ・災害時のアレルギー対応について ・災害時の保健・医療・福祉分野の対応について	管内市町栄養士	第1回 10名
第2回 令和7年11月28日(金) 13:30～16:00			第2回 12名
第3回 令和8年3月5日(木) 9:30～11:30 いずれの回も石川県庁			第3回 10名

2 高齢者施設等における感染症対応力強化事業

(1) 会議、連絡会の開催

会議や連絡会を開催することによって、管内の医療体制整備や高齢者施設と医療機関の連携体制の構築を図ることを目的とする。

表1 会議、連絡会の開催状況

(令和7年度)

事業内容	実施月日 開催場所	参集者	内容	参加人数
石川中央高齢者施設 等感染症対策協議会 (地区協議会)	令和8年2月17日(火) 19:00～20:30 石川県庁	感染対策向上加 算算定医療機 関、専従の感 染管理認定看護 師(ICN)、郡市医 師会、高齢者施 設等関係団体等	・高齢者施設と医療機関の連携強化 ・管内ICNによる施設の感染症対応 力強化	16名
高齢者施設と感染管 理認定看護師(ICN) の地区別連絡会	① 白山野々市地区 令和7年9月1日(月) 14:00～16:00 公立松任石川中央病院 ② 河北地区 令和7年9月26日(金) 14:00～16:00 金沢医科大学病院	管内医療機関感 染管理認定看護 師(ICN)等、高 齢者施設職員 (感染症対策の 中心となる職 員)	・高齢者施設等の感染症対応力強化 事業について ・石川中央保健所内での取り組みに ついて (高齢者施設への実地指導等) ・ICNによる感染症対応力向上の ためのミニレクチャー	①37名 ②14名
ICN連絡会	①令和7年8月22日(金) ②令和7年10月10日(金) ③令和8年1月27日(火)	管内医療機関感 染管理認定看護 師(ICN)	・施設における平時からの感染症対 応力強化のための仕組みづくり ・実地支援の進め方 ・感染症対策ハンドブック Q&A の 作成、改訂について	①6名 ②8名 ③10名

(2) 施設訪問及び実地支援

高齢者施設と医療機関の連携強化を図るため、協力医療機関締結の進捗状況の聞き取りを実施。また、施設の感染症対応力を強化するため、ICN とともに実地支援に出向き施設の感染症対応状況の確認や相談対応を実施した。

表2 施設訪問及び実地支援実施状況

区分	内容	対象・件数
施設訪問	協力医療機関の届出結果において、 ・要件 1, 2, 3 のいずれかを定めていない施設 ・協力医療機関に第一種協定指定医療機関が含まれていない施設 について、協力医療機関締結の進捗状況等の聞き取り	管内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院 5 施設
実地支援	・事前チェック表による状況確認 ・現地での聞き取り調査 ・施設内巡回及び対応助言 ・施設の基本情報、平面図の情報収集	管内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院 15 施設

(3) 指導媒体の改訂、作成

感染症対策ハンドブックの改訂、Q & A の作成

第2節 関係機関との連携

1 地域保健医療福祉連携対策連絡会

表1 地域保健医療福祉連携対策連絡会の開催状況

(令和7年度)

会 議 名	実施日 開催場所	参 集 者	出席人数	目 的	会 議 内 容
石川中央医療圏地域・職域連携連絡会	令和7年 7月24日(木) 石川県庁	石川産業保健総合支援センター、石川中央地域産業保健センター、全国健康保険協会石川支部、金沢衛生管理者研究会、白山商工会議所、管内各市町の保健事業担当課、石川県健康推進課	15名	地域・職域における取り組み等の共有、及び、保健資源の相互活用や保健事業の共同実施などについての協議。	・石川中央医療圏の健康課題について ・各機関の取り組みについて
保健所運営協議会	令和8年 2月5日(木) 県庁	郡市医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、女性協議会、保育園、食品衛生協会、食生活改善推進協議会、市町の代表	21名	保健所の所管区域内の地域保健及び保健所の運営に関する事項の審議	・石川中央保健所の事業概要について ・石川中央保健所健康危機対処計画（感染症）について ・高齢者施設等における感染症対応力強化事業について

2 糖尿病重症化予防ネットワーク事業

糖尿病医療の連携を強化し、重症化を予防するため、県では第6次石川県医療計画（H25～）から地域ごと（郡市医師会単位）で協議会を設置することとし、様々な取り組みが行われている。当所は委員として参加するとともに、協議会事務局を積極的に支援している。

表2 管内糖尿病重症化予防ネットワーク協議会の開催状況（令和7年度）

	白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会	河北地区糖尿病発症・重症化予防ネットワーク協議会
委員	公立松任石川中央病院、公立つるぎ病院、医師会、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、白山市、野々市市、保健福祉センター	金沢医科大学病院、河北中央病院、医師会、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会、職域（金沢医科大学、PFU）、かほく市・津幡町、内灘町、保健福祉センター
事務局	公立松任石川中央病院	金沢医科大学病院
協議会	①令和7年7月29日（火）21名参加 ②令和7年11月26日（水）21名参加 ③令和8年3月26日 書面	①令和7年6月13日（金）25名参加 ②令和8年3月27日 書面
主な事業内容	・医師向け糖尿病スキルアップ研修会 ・コメディカル研修会 テーマ「糖尿病と災害について」 ・症例検討会 ・市民向け出前講座	・「保健医療連携体制」の取り組み継続 ・河北郡市の健康まつり等における糖尿病発症・重症化予防の普及啓発 ・河北郡市糖尿病懇話会 かほく市、内灘町の症例検討 ・糖尿病を知ろう！勉強会

3 市町支援

(1) 保健福祉事業連絡会

各事業で管内市町担当者連絡会を開催し、現状や課題等を共有し意見交換した。(各事業の項に詳細あり)

- ・特定健診・特定保健指導担当者情報交換会
- ・がん検診担当者連絡会
- ・母子保健担当者連絡会
- ・精神保健福祉担当者連絡会

(2) 市町人材育成

管内保健師の専門性向上、顔の見える関係性づくりを目指し、研修を開催した。(研修の項に詳細あり)

- ・新任保健師研修フォローアップ研修会
- ・保健師リーダー連絡会

(3) 市町支援実績

市町職員に対する研修・指導、市町が主催した会議等への参加による支援

表3 市町支援状況

(令和7年度)

	策 保 定 健 ・ 計 地 画 区 断 診 の	母 子 保 健	健 康 増 進	生 介 活 護 支 予 援 防	歯 科 保 健	感 染 症	精 神 保 健 福 祉	難 病	介 護 保 険	健 康 危 機 管 理	そ の 他	計
実 施 回 数 (回)	0	116	16	11	4	0	41	0	12	7	18	225
参 加 延 人 数 (人)	0	1,012	115	69	13	0	205	0	62	46	37	1,559

第3節 調査研究

1 北陸公衆衛生学会（第52回）

開催日：令和7年11月21日（金） 開催地：石川県金沢市 発表方法：口頭発表

石川中央保健福祉センターにおける自殺未遂者支援の取り組みについて

○大野 有加、麻生 有佑未、竹本 玲湖、北村 誠一、北野 浩子、大矢 紀子、木曾 啓介（石川県石川中央保健福祉センター）

〔目的・背景〕

自殺未遂者（以下、未遂者）の4割以上が過去に自殺未遂の経験を有するとの調査報告もあり、再発防止の観点からも未遂者に対する支援が重要である。今回、当センターで行っている未遂者支援の取り組みについて報告する。

〔取組・結果〕

1. 自傷行為・自殺未遂者支援連絡票による連携

平成30年度から、管内の精神科病棟を持つ救急告示医療機関の1機関と自傷行為・自殺未遂者支援のための連携事業を開始した。その内容は、救急搬送される等医療機関が把握した未遂者やその家族に、本事業の趣旨説明を行ってもらい、同意が得られた者について、「自傷行為・自殺未遂者支援連絡票」を用いて、当該医療機関から当センターに情報提供をいただき、その後、当センターにて個別支援を行うものである。会議等で事業を周知してきた結果、今年度は2機関で実施をしている。支援状況については、昨年度までの7年間に受理した57件の連絡票のうち、直近2年分22件の現況を分析したところ、継続支援2件（9.1%）、支援終了9件（40.9%）、途中離脱4件（18.2%）、連絡拒否5件（22.7%）、再入院2件（9.1%）であった。支援終了者の支援期間は、3か月以内3件（33.3%）、1年未満5件（55.6%）、1年以上1件（11.1%）であった。また、支援終了の目安は、病状が安定かつ家族や地域の関係機関の支援が十分得られていること、一方で、継続支援の目安は、未遂を繰り返していることや独居世帯とした。関係機関との連携については、連絡や同行訪問が7件（31.8%）、ケア会議の開催が3件（13.6%）であった。

2. ケース連絡会議の開催

連携機関のスタッフと年1回ケース連絡会議を開催し、当センターの支援状況や受診状況、主治医の見立て等について報告すると共に、支援方針を検討した。

3. 自殺対策地域連携会議の開催

管内の医療機関、警察、消防、市町等と年1回連携会議を開催している。昨年度は、事例検討を通し対応への理解を深めるとともに、各機関の支援体制について情報交換を行った。

〔考察〕

この連携事業はまだ開始して間もなく、ケースとの関係づくりや支援終了時期の判断が難しい。また、新たなケースが増えていく中で、命に関わるような事例も含め、限られたマンパワーで支援を行う必要があり、担当者の負担も大きい。今後は、ケースを積み重ね、経験を他のケースにも生かしていくとともに、関係機関との連携強化や支援体制の整備を行い、関係者同士の支援ネットワークを作り、地域全体で未遂者を見守り支えていくことが、再発防止とかけがえのない命を大切にしていくことに繋がると考える。

2 日本環境感染学会（第40回）

開催日：令和7年7月10日（木）～12日（土）開催地：神奈川県横浜市 発表方法：ポスター発表

P2-090

令和6年能登半島地震および令和6年奥能登豪雨の被災地保健所におけるレジオネラ症届出と公衆浴場衛生管理

石川県石川中央保健所 中村 萌里
石川県能登中部保健所 後藤 善則

【背景】

令和6年元日に発生した能登半島地震では密接した集団生活や断水等による環境衛生保持の困難さが長期に渡り、避難所等で感染症が流行しDICTを始め保健医療支援チームが感染制御の応援に入った。同年9月には奥能登豪雨に見舞われ、浸水地域では汚泥が堆積し、復旧に多くのボランティアから支援を受けた。



図1 令和6年能登半島地震により倒壊した家屋(左)及び令和6年奥能登豪雨により浸水した仮設住宅(右)

レジオネラ症は被災地で注意すべき感染症で、発災当日に厚生労働省は事務通知を発出し、作業時の防塵マスク着用を推奨した。能登北部保健所ではレジオネラ症(四類感染症)の届出受理後患者等への聞き取り調査に加え、感染経路として懸念される公衆浴場の衛生管理の監視・指導等感染(水系・塵埃)防止対策に取り組んだ。

【患者発生状況】

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年 [※]
石川県	45	47	33	49	21
能登北部	0	1	2	5	1

※ 第22週(5月26日～6月1日)まで

表1 近年のレジオネラ症発生届出数

年代	性	職業	基礎疾患	病型	発病月	診断方法	公衆浴場等利用	予想される感染経路
70代	男	無職	白血病 認知症	肺炎型	R6.5	尿中抗原	なし	田舎への準備
80代	男	無職	COPD、喫煙 慢性甲状腺炎 原発性胆汁性硬化症	肺炎型	R6.8	尿中抗原	施設A 施設B	
70代	女	事務職	間質性肺炎	肺炎型	R6.9 豪雨前	尿中抗原	なし	被災した自宅の片付け作業
60代	男	ダンパー 運転手	糖尿病	肺炎型	R6.11	尿中抗原	施設C	がれき撤去等に 関連する作業
50代	男	廃棄物 処理業	COPD	肺炎型	R6.11	LAMP (喀痰)	施設D	廃棄物処理に 関連する作業
60代	女	検査技師	気管支喘息 アレルギー性鼻炎	肺炎型	R7.2	尿中抗原	なし	

表2 能登北部保健所管内のレジオネラ症患者一覧(令和6～7年)

豪雨前3名、豪雨後3名が発症した。3名が被災建物の片付けや解体に従事していた。3名が異なる4か所の公衆浴場を利用していた。

【活動1：状況把握】

浸水地域の高齢者施設や保育所を訪問し被害状況の確認、清掃や事業再開について協議した。

【活動2：注意喚起】

豪雨後は町中に土埃が舞う中、泥かきボランティアが増加した。保健所はボランティア受付窓口に出向き、活動時のレジオネラ症を含む感染予防の注意喚起を行った。

ボランティアの皆様へ 作業時の注意事項！

- ケガ予防
・丈夫な手袋や厚い靴などを着用。
・長袖など肌を覆う服装を着用。
※ケガをしてしまったら、傷口を流水で洗浄し、消毒しましょう。特に深い傷や汚れた傷は医師に相談しましょう。

- 土ほりへの対応
・ゴーグルやマスクを着用し、目や口を保護。
・土埃など呼吸器に侵入を防ぐよう努めましょう。
※目に異物が入ってしまったら、目を洗って目を閉じてしばらく様子を見ましょう。

- 感染症対策
・ドア、窓を開けてしっかり換気しましょう。
・汚泥は取り除き、乾燥させましょう。

- 食中毒予防
・飲食の前、トイレの後、作業終了後には、必ず手を洗きましょう。
・お弁当など飲食物の温度管理に気を付けましょう。
(保冷剤、クーラーボックスなど活用)

石川県能登北部保健福祉センター



図2 泥かき作業時の注意喚起ポスター(左)及びボランティア受付窓口の様子(右)

【活動3：公衆浴場衛生管理】

管内13か所の公衆浴場が被災者や支援者に対する無料入浴支援に協力しており、保健所では7月以降順次監視・指導を実施した。

管理者に、設備破損や浸水の被害、再開時の消毒・洗浄やレジオネラ菌検査の実施の有無、換水頻度(施設はすべて循環式)を聞き取り、残留塩素濃度と浴槽水ATP値を測定した。1施設では採水し、行政検査としてレジオネラ菌検査を実施した。

計13施設			
配管消毒・洗浄	再開前実施	5 (38%)	消毒・洗浄方法 [高濃度塩素 過酸化水素]
	再開前未実施	8 (62%)	
レジオネラ菌検査	再開前実施	2 (15%)	
	再開前未実施	11 (85%)	
残留塩素濃度 (0.4mg/L以上)	監視時適	9 (69%)	
	監視時不適	4 (31%)	
浴槽水ATP検査 (125RLU未満)	監視時適	7 (54%)	
	監視時不適	6 (46%)	

表3 能登北部保健所管内における無料入浴支援協力公衆浴場の衛生管理状況

事例1：無料入浴支援公衆浴場

配管消毒・洗浄	レジオネラ菌検査	残留塩素濃度 (mg/L)	浴槽水ATP検査 (RLU)
未実施	未実施	男：0.05 女：0.5	男：526 女：21

表4 無料入浴支援に協力している管内公衆浴場Eの衛生管理状況

復旧復興工事に伴い男性利用者が増加したが、男女浴室で衛生管理方法は同じであった。地震後に担当者が代わるも、衛生管理方法が引継がれていない。

⇒換水頻度の見直し、残留塩素濃度の管理、衛生管理方法のマニュアル化等を指導した。

事例2：レジオネラ症患者利用公衆浴場

配管消毒・洗浄	レジオネラ菌検査	残留塩素濃度 (mg/L)	浴槽水ATP検査 (RLU)
未実施	未実施	男：0.8	男：89

表5 レジオネラ症患者が利用していた管内公衆浴場C(無料入浴支援対象外)の衛生管理状況

他利用者の体調不良や苦情はなく、利用者の多くが工事業者である。配管の老朽化で過酸化水素を用いた配管洗浄ができない。浴槽水で実施したレジオネラ菌の行政検査は陰性であった。

⇒換水頻度の見直し、高濃度塩素を用いた配管消毒の実施等を指導した。

【考察】

・レジオネラ症の発生が増加した。解体をはじめ復旧復興作業は続いており、住民や支援者への粉じん対策等の注意喚起を継続する。

・災害時は停電や断水等で公衆浴場は平常時と同等の衛生管理ができないため、想定される課題とその対応を準備しておく必要がある。公衆浴場の営業再開時には衛生管理が杜撰になる傾向があり、管理方法の再周知のため主要施設を巡回することは効果的である。

・利用者数が増加し地震前の管理方法では不十分なことを管理者は認識し対応するとともに、利用者にも入浴マナーが求められる。

・災害対応では情報収集に難渋する。担当部局に留まらず、他部局との連携を強化すべきである。

日本環境感染学会 COI開示
発表者：中村 萌里、後藤 善則

演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

3 生活と環境全国大会（第69回）

開催日：令和7年10月16日（木）、17日（金）開催地：宮城県仙台市 発表方法：口頭発表

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨における生活衛生関係支援事業及び環境衛生監視員としての対応

中村 萌里

1. はじめに

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震は、最大震度7を観測する大災害となった。能登地域を中心に上下水道等のライフラインや道路等のインフラ施設に甚大な被害が発生し、広範囲で液状化現象や地盤隆起等の地形変化も発生した。

石川県では、被災者に対し、入浴支援や洗濯支援といった生活衛生関係支援事業を実施した。特に被害が大きかった奥能登地域を管轄する石川県能登北部保健福祉センターには、生活衛生関連施設の衛生管理や再建に関する相談、宿泊施設の不足に伴う新規宿泊事業に関する相談が増加した。また、環境衛生監視員として、地震後に営業を再開した公衆浴場等に対する監視・指導に取り組んだ。



写真1 令和6年能登半島地震で倒壊した家屋（左）及び令和6年奥能登豪雨により浸水した仮設住宅（右）

2. 生活衛生関係支援事業

2. 1 入浴支援

入浴設備の無い避難所への避難や断水により、1次避難所や自宅において入浴できない被災者が多数発生した。また、能登地域以外へ広域避難する場合についても、避難先が体育施設等の場合には、十分な入浴機会を確保することが困難な状況であった。

そこで石川県では、協力公衆浴場を募集し、入浴ができない被災者を対象に入浴支援を実施した。対象者には初回利用時に無料入浴証明書を発行し、証明書を提示することで、協力公衆浴場を無料で利用できるようにした。被災者の入浴料金は県が負担し、災害救助法に基づき国に請求した。支援が終了した令和7年4月までに、延べ約84万人がこの支援制度を利用した。

2. 2 洗濯支援

断水等により、避難所生活において洗濯ができない被災者が多数発生した。発災当初、クリーニング業者が被災地を回って洗濯物を回収し、無料で洗濯するボランティアを実施していたが、令和6年2月から県による無料洗濯支援を実施した。県の洗濯支援では、市町が選定した対象避難所を県の委託を受けたクリーニング業者が定期的に巡回し、避難者の洗濯物を無料で回収し洗濯した。被災者の洗濯料金は県が負担し、災害救助法に基づき国に請求した。本支援は58ヶ所の避難所で実施された。

3. 環境衛生監視員としての対応

3. 1 相談対応及び再建の状況

発災直後は道路状況が悪く電話も不通であり、生活衛生関連施設の被害状況の確認にも困難を極める中で、復旧工事業者やボランティアが宿泊する場所が不足し、断水中の施設からの衛生管理に関する問い合わせや、空き家等を利用した新規宿泊事業に関する相談が多数寄せられた。

コンテナハウスや仮設商店街等の特殊な施設を活用して、理・美容所や旅館の営業を再開しようとする事業者においては、設備基準への適応等の対応に苦慮する事例も少なくなかった。

3. 2 公衆浴場への監視・指導

地震後の休業期間や利用者の増加により衛生環境の悪化が懸念されたことから、入浴支援に協力していた奥能登地域の公衆浴場13施設に対し、衛生管理についての監視・指導を実施した。管理者から設備破損や浸水の被害、再開時の消毒・

洗浄やレジオネラ属菌検査の実施の有無等を聞き取り、残留塩素濃度と浴槽水 ATP 値を測定したところ、適切な衛生管理を実施できていない施設が多くあった。利用者が増加したことで衛生管理が不十分になっていた施設や、地震後に担当者が変わり衛生管理方法が引き継がれていない施設もあったため、換水頻度の見直し、残留塩素濃度の管理、衛生管理方法のマニュアル化等を指導した。

また、被災地で注意すべき感染症のひとつであるレジオネラ症の患者の届出件数が地震後に増加した。患者の中には、公衆浴場を利用した人や被災した建物の片付けや解体に従事した人がいたが、集団発生はなく、いずれも原因の特定には至らなかった。

4. おわりに

支援事業については協力事業者の負担や支援対象者の把握等における課題もあったため、災害時にどのような問題が発生し得るかについて過去の災害事例から予想し、対応を予め検討しておくことが大切である。

災害時は平常時と同等の衛生管理ができず、公衆浴場では営業再開時に衛生管理が杜撰になる傾向があったため、衛生管理方法の再周知のために主要施設を巡回することは効果的であった。復旧復興作業は続いているため、施設の監視・指導を強化し、継続すべきである。

第4節 指導監査・実地指導

県では、社会福祉施設の事務処理及び運営等が適切に行われること、また介護サービス事業者のサービスの質の確保・向上を図ることを目的に施設監査及び実地指導を行っている。当センターは、県が実施する指導監査及び実地指導において、利用者及び職員の健康管理、感染症予防及び衛生管理等について確認している。

1 社会福祉施設指導監査

表1 社会福祉施設指導監査状況

(令和7年度)

	老人福祉施設	児童福祉施設	障害者施設
件数	11	50	2

2 介護保険施設等実地指導

表2 介護保険施設等実地指導状況

(令和7年度)

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	居宅介護サービス											
					居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	居宅療養	通所介護	通所リハ	短期生活	短期療養	特定施設	福祉用具
件数	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	9	2	5	0

3 介護保険市町（保険者）事務支援

県では、介護保険法第5条第197条第1項及び地方自治法第245条の4の規定に基づき、介護保険制度の円滑な実施を図ることを目的に、介護保険者である市町の事務支援を実施している。当センターは、県が実施する事務支援において、要介護（要支援）認定に関する事務及び介護認定審査会に関する事務について確認している。

表3 介護保険市町（保険者）事務支援状況 (令和7年度)

区分	市町名
実地調査	かほく市、白山市
書面調査	金沢市、野々市市、津幡町、内灘町

第5節 研修・学生指導

1 地域保健従事者への研修・連絡会

健康課題解決のため、関係者への知識・技術等の習得に係る研修・連絡会を企画し実施した。

表1 地域保健従事者向け研修等の状況

(令和7年度)

項目	日時・会場	対象	内容	参加者数
特定健診・特定保健指導情報交換会	令和7年10月31日(金) 14:00～16:20 石川県庁	管内市町特定健診・特定保健指導担当者	情報交換 ・特定健診受診率向上対策について ・集団健診の予約システムについて ・メールやzoomなどによる保健指導について 等	11名
がん検診関係者連絡会	令和7年9月18日(木) 14:00～16:00 石川県庁	管内市町がん検診担当者	情報交換 ・受診率向上に向けた方策について ・精検受診率について ・検診の精度管理について	11名
新任保健師研修フォローアップ研修会	令和8年2月13日(金) 13:00～17:00 石川中央保健福祉センター	管内の新任保健師、指導者(今年度は南加賀HCと合同開催)	事例検討 講師: 県立看護大学 教授兼附属地域ケア総合センター長 塚田 久恵 氏 ・新任者3名の事例について検討	11名
保健師リーダー連絡会	令和7年7月2日(水) 10:00～12:00 石川県庁	管内市町の保健師リーダー(統括保健師等)	情報交換 ・災害時の保健活動について ・人材確保・人材育成について	16名
特定給食施設調理従事者等研修会	令和8年2月17日(火) 14:00～15:30 オンライン開催	学校、病院、児童福祉施設、高齢者施設、事業所等の特定給食施設に勤務する調理従事者等	講演「集団給食施設の衛生管理について」 講師: 当所食品保健課職員 情報提供 「石川中央管内における児童・生徒の肥満やせの状況」 講師: 当所企画調整課職員 情報提供: 「栄養管理報告書の様式改正について」 講師: 当所企画調整課職員	135名

管内栄養士等 研修会	令和7年12月16日（火） 14:00～16:00 オンライン開催	特定給食施設等の栄養 管理担当者、 管内市町栄 養士等	報告：「南加賀管内特定給食施設等における災害等の体制状況について」 講師：南加賀保健福祉センター企画調整課 浦上技師 講演「給食施設におけるBCPの重要性-経験者が語る災害時の給食の落とし穴-」 講師：恵寿総合病院 管理栄養士 小蔵 要司 氏	71名
歯周病予防対策研修会	令和7年12月11日（木） 15:00～16:00 ハイブリッド開催	管内市町歯 科保健担 当者	講演「歯周病と糖尿病の関連について」 講師：石川県歯科医師会 公衆衛生担当理事 小林歯科医院 院長 小林 憲一 氏	8名

2 医師臨床研修

平成16年度から医師に対する2年間の臨床研修が必須化（医師法等の一部改正）され、「地域保健・医療」研修の一環として保健所における研修を実施している。

表2 医師臨床研修受入れ状況

（令和7年度）

病 院 名	研修医数	研 修 期 間
県立中央病院	2名	令和7年11月10日（月）～11月23日（日）

3 学生実習指導等

（1）学生実習オリエンテーション

看護学生及び公衆栄養学実習生に対する保健所の業務内容の説明

表3-1 オリエンテーション開催状況

（令和7年度）

日時	学校	参加者数
令和7年4月23日（水）	石川県立看護大学	91名
	金沢医科大学看護学部	
	金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	
	金城大学公衆衛生看護学専攻科	
	金沢学院大学栄養学部栄養学科	

(2) 現地実習

看護学生、管理栄養士学生に対する各課担当者からの講義及び演習等

表 3－2 現地実習状況

(令和7年度)

学 校 名	学生数	実 習 期 間
県立看護大学	55 名 (3G)	令和7年5月、6月 (1 日間)
金沢医科大学看護学部	16 名	令和7年6月 (2 日間)
金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	4 名	令和7年7月 (2 日間)
金城大学公衆衛生看護学専攻科	11 名	令和7年9月 (1 日間)
金沢学院大学栄養学部栄養学科	8 名	令和7年8月～9月 (5 日間)

第 5 章 医 療

第1節 医 事 ・ 薬 事

1 医 事

(1) 医療施設数及び保健・医療等従事者数

表1 病院、診療所、助産所、施術所数

(令和7年度末)

		病院診療所計								歯科診療所		助産所 (出張専業 除く)	施 術 所(出張専業除く)			
		施設数	ベッド数	施設数	ベッド数	施設数	無床	有床	ベッド数				施設数	ベッド数	計	あんま、 マッサージ、 はり、灸
管内計	6年度末	197	2,904	15	2,797	182	174	8	107	87		9	219	106	113	
	7年度増	6	12			6	5	1	12	2			4	2	2	
	7年度減	7	10		10	7	7			7			1		1	
7年度末現在		196	2,906	15	2,787	181	172	9	119	82		9	222	108	114	
白 山 市 野 々 市 市	6年度末	137	1,295	8	1,188	129	121	8	107	58		8	145	75	70	
	7年度増	4	12			4	3	1	12	1			3	2	1	
	7年度減	5				5	5			6			1		1	
7年度末現在		136	1,307	8	1,188	128	119	9	119	53		8	147	77	70	
白山市 野々市市	6年度末	76	583	4	539	72	68	4	44	32		6	86	45	41	
	7年度増	1				1	1						2	1	1	
	7年度減									4						
	7年度末現在	77	583	4	539	73	69	4	44	28		6	88	46	42	
	6年度末	61	712	4	649	57	53	4	63	26		2	59	30	29	
	7年度増	3	12			3	2	1	12	1			1	1		
	7年度減	5				5	5			2			1		1	
	7年度末現在	59	724	4	649	55	50	5	75	25		2	59	31	28	
	か ほ く 市 河 北 郡	6年度末	60	1,609	7	1,609	53	53			29		1	74	31	43
		7年度増	2				2	2			1			1		1
7年度減		2	10		10	2	2			1						
7年度末現在		60	1,599	7	1,599	53	53			29		1	75	31	44	
かほく市 津幡町 内灘町	6年度末	25	573	3	573	22	22			8			27	10	17	
	7年度増												1		1	
	7年度減															
	7年度末現在	25	573	3	573	22	22			8			28	10	18	
	6年度末	20	139	2	139	18	18			12			27	10	17	
	7年度増	2				2	2									
	7年度減	1				1	1									
	7年度末現在	21	139	2	139	19	19			12			27	10	17	
	6年度末	15	897	2	897	13	13			9		1	20	11	9	
	7年度増									1						
	7年度減	1	10		10	1	1			1						
	7年度末現在	14	887	2	887	12	12			9		1	20	11	9	

表2 病院別病床数内訳

(令和7年度末)

白山市・野々市市						かほく市・河北郡					
病院名	病床種別内訳					病院名	病床種別内訳				
	一般	療養	精神	感染結核	計		一般	療養	精神	感染結核	計
公立松任石川中央病院	275		30		305	石川県立こころの病院			400		400
恵愛会松南病院	35				35	二ツ屋病院		138			138
公立つるぎ病院	152				152	中田内科病院		35			35
新村病院	47				47	(かほく市)		173	400		573
(白山市)	509		30		539	公立河北中央病院	60				60
南ヶ丘病院	120				120	みずほ病院		79			79
ときわ病院			268		268	(津幡町)	60	79			139
金沢脳神経外科病院	60	160			220	金沢医科大学病院	771		36		807
池田病院		41			41	内灘温泉病院		80			80
(野々市市)	180	201	268		649	(内灘町)	771	80	36		887
計 8 機 関	689	201	298		1,188	計 7 機 関	831	332	436		1,599
合 計 1 5 機 関							1,520	533	734		2,787

表3 診療所別病床数内訳

(令和7年度末)

白山市・野々市市						かほく市・河北郡					
診療所名	病床種別内訳					診療所名	病床種別内訳				
	一般	療養	精神	感染結核	計		一般	療養	精神	感染結核	計
あさがおクリニック	11				11						
下崎整形外科医院	19				19						
嶋 医 院	2				2						
いこまともみレディースクリニック産科分院	12				12						
(白山市)	44				44						
わかばやし眼科クリニック	11				11						
ののいち産婦人科クリニック	14				14						
ののいち白山醫院	19				19						
船 木 医 院	19				19						
つむぎクリニック	12				12						
(野々市市)	75				75						
計 9 機 関	119				119	計 0 機 関					
合 計 9 機 関							119				119

表4 保健・医療等従事者数

職種 市町別	保 健 ・ 医 療 関 係 者 ※1							市町関係者 ※2		
	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	保健師	栄養士	看護師
管 内 計	714	143	642	161	90	3,084	353	103	29	11
白山市・野々市市	268	80	423	91	48	1,588	248	51	16	9
かほく市・河北郡	446	63	219	70	42	1,496	105	52	13	2
白山市	157	40	284	58	30	939	136	33	11	3
野々市市	111	40	139	33	18	649	112	18	5	6
かほく市	45	17	46	23	7	401	41	16	4	2
津幡町	32	14	48	20		196	38	19	5	
内灘町	369	32	125	27	35	899	26	17	4	

※1 資料：「令和7年度版 健康推進の主要指標」石川県健康福祉部
従事者は、令和6年12月31日現在隔年調査で従業地による集計。
(医師・歯科医師・薬剤師については非従業者を含む。)

※2 令和7年4月1日現在の人数。

(2) 医療機関立入検査

ア 立入検査の目的

この検査は、適切な医療の確保を図ることを目的として、医療機関が医療法その他の法令の規定に基づき適正に運営管理されているか否かについて、医療法第25条第1項の規定により医療監視員が医療機関に立ち入り、調査及び指導を行う。

イ 検査内容

医療法等に基づく医療従事者、収容患者、構造設備、運営等の適合状況について、診療録、その他の帳簿書類の閲覧、関係者からの事情聴取及び構造設備に対する現場確認などを行う。

ウ 実施期間

令和7年7月～令和7年11月

エ 実施施設数

	白山市・野々市市	かほく市・河北郡	計
病 院	8	7	15
一般診療所（有床）	0	0	0
一般診療所（無床）	0	0	0
歯 科（無床）	0	0	0
助 産 院	0	0	0
合 計	8	7	15

(3) 医療相談窓口

ア 保健所が所管する医療機関に関する相談や苦情、医療機関を利用するにあたっての相談などを実施している。 (面談又は、電話にて受付)

受け付ける主な相談の内容

- ・ 医療行為もしくは、医療内容の相談に関すること
- ・ 医師等の説明に関すること
- ・ 医療機関の職員の対応、接遇に関すること
- ・ 医療法、医師法に関すること

なお、次に掲げる事項は医療関係法規に基づく指導、調査権限等を有していないため、具体的解決までの支援を行うことができない。この場合、相談者のニーズに対応できる機関の紹介や、一般的な対処方法をアドバイスすることにより、支援している。

- ・ 医療内容の適否や、その過失の有無の判断
- ・ 犯罪捜査に関するもの
- ・ 医療機関との民事上のトラブルの仲介
- ・ 保健所医師へのセカンドオピニオンの依頼
- ・ 医療機関に対する評価

イ 令和7年度相談件数 6件

2 薬事

(1) 薬事関係施設等と監視指導

表1 薬局等施設数及び監視件数（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）

（令和7年度末）（件）

区 分		市 町	合計	白山市・野々市市			かほく市・河北郡			白山市	野々市市	かほく市	津幡町	内灘町	監視件数	監視率(%)
				小計	新規	廃止	小計	新規	廃止							
計			1,051	719	29	31	332	15	3	435	284	132	114	86	273	26.0
医薬品	薬 局		140	95	2	1	45	3	1	51	44	19	14	12	102	72.9
	医 薬 品 製 造 業		4	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	25.0
	薬局医薬品製造業		7	4	0	0	3	0	0	4	0	1	1	1	2	28.6
	製造販売業	第 1 種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		第 2 種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		薬 局	7	4	0	0	3	0	0	4	0	1	1	1	2	28.6
	店 舗 販 売 業		93	64	3	1	29	1	0	35	29	11	12	6	28	30.1
	卸 売 販 売 業		18	17	0	0	1	0	0	14	3	0	1	0	1	5.6
	特 例 販 売 業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	配 置 販 売 業		2	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0.0
医薬部外品	製 造 業		1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0
	製 造 販 売 業		1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0
化粧品	製 造 業		2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0
	製 造 販 売 業		3	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0.0
医療機器	製 造 業		16	8	0	0	8	0	1	8	0	7	1	0	0	0.0
	修 理 業		8	8	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0.0
	製造販売業	第 1 種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		第 2 種	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0
		第 3 種	5	3	0	0	2	0	0	3	0	2	0	0	0	0.0
	高度管理医療機器販売業・賃貸業		162	111	11	5	51	6	1	59	52	16	16	19	113	69.8
	管理医療機器販売業・賃貸業		581	391	12	8	190	5	0	241	150	75	68	47	24	4.1

※ 原則、製造業及び製造販売業の監視業務は、県薬事衛生課で対応。

表2 毒物劇物営業者等及び監視件数（毒物及び劇物取締法）

（令和7年度末）（件）

市 町 区 分		合 計	白山市・野々市市			かほく市・河北郡			白 山 市	野 々 市 市	か ほ く 市	津 幡 町	内 灘 町	監 視 件 数	監 視 率 (%)
			小 計	新 規	廃 止	小 計	新 規	廃 止							
計		101	84	1	6	17	0	0	61	23	6	10	1	17	16.8
毒物劇物販売業	一 般	74	61	1	4	13	0	0	43	18	5	7	1	12	16.2
	農 業 用 品 目	14	10	0	0	4	0	0	7	3	1	3	0	5	35.7
	特 定 品 目	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0
業務上取扱者	電気メッキ事業者	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0
	運 送 事 業 者	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0
毒 物 劇 物 製 造 業		2	2	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0.0
特 定 毒 物 研 究 者		6	6	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0.0

※ 原則、製造業の監視業務は、県薬事衛生課で対応。

表3 麻薬・覚醒剤関係施設等及び監視件数（麻薬及び向精神薬取締法、覚醒剤取締法）

（令和7年度末）（件）

市 町 区 分		合 計	白山市・野々市市			かほく市・河北郡			白 山 市	野 々 市 市	か ほ く 市	津 幡 町	内 灘 町	監 視 件 数	監 視 率 (%)
			小 計	新 規	廃 止	小 計	新 規	廃 止							
計		264	181	4	6	83	5	0	95	86	32	23	28	126	47.7
麻薬取扱施設	病 院	15	8	0	0	7	0	0	4	4	3	2	2	19	126.7
	診 療 所	86	64	1	3	22	2	0	35	29	10	5	7	1	1.2
	動 物 診 療 所	15	9	0	0	6	0	0	5	4	1	2	3	3	20.0
	麻薬小売業（薬局）	132	89	2	2	43	2	0	46	43	17	14	12	103	78.0
	麻 薬 研 究 施 設	10	7	1	1	3	0	0	2	5	0	0	3	0	0.0
覚醒剤原料研究施設		1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0
向精神薬	向精神薬製造製剤業	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0
	向精神薬試験研究施設	4	2	0	0	2	1	0	1	1	1	0	1	0	0.0

(2) 献血推進状況

表4 献血状況

(令和7年度末)

区分 市町	目標人数(人)			献血者数*(人)			達成割合(%)	
	200ml 献血	400ml 献血	小計	200ml 献血	400ml 献血	小計	200ml 献血	400ml 献血
石 川 県	511	17,577	18,088	906	19,361	20,267	177.3	110.1
管 内 計	171	5,215	5,386	264	5,818	6,082	154.4	111.6
白山市・野々市市	141	4,235	4,376	188	4,681	4,869	133.3	110.5
かほく市河北郡	31	980	1,011	76	1,137	1,213	245.2	116.0
白 山 市	93	3,185	3,278	87	3,486	3,573	93.5	109.5
野 々 市 市	48	1,050	1,098	101	1,195	1,296	210.4	113.8
か ほ く 市	13	420	433	17	520	537	130.8	123.8
津 幡 町	15	480	495	53	516	569	353.3	107.5
内 灘 町	3	80	83	6	101	107	200.0	126.3

*成分献血は含まない

(3) 薬物乱用防止普及啓発事業

麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法、あへん法、大麻取締法、毒物及び劇物取締法

「薬物乱用防止対策事業の実施について」H11.7.9 医薬発第835号

項 目	内 容
ア 不正大麻・けし撲滅運動 (R7.5.1～6.30)	・高校・大学等、農協各支所、公民館等でのポスターの掲示
イ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (R7.6.20～7.19)	・ヤング街頭キャンペーン ・薬局、薬店等でのポスター掲示 ・国連支援募金への協力(地域団体募金、職域募金)
ウ 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動 (R7.10.1～11.30)	・関係団体からの学校、地域へ呼びかけ、チラシ等の配布
エ 薬物乱用防止指導員による地域における啓発活動	(ア) 薬物乱用防止指導員の人数(令和8年3月31日現在) 68名 内訳：薬剤師会 35名 保護司会 24名 ライオンズクラブ 6名 更生保護女性会 3名 (イ) 活動内容 ・地域団体等の会合で啓発 ・街頭啓発活動 ・地域住民からの相談受付 ・小、中学校等の薬物乱用防止教室に協力

第2節 医療費公費負担

1 結核医療費給付

表1 結核医療費公費負担状況

(令和7年)(件)

37条申請	答申内容			37条の2 申請	答申内容		
	要と判定	否と判定	公費負担 不適		承認	不承認	公費負担不適
30	30	0	0	36	34	2	0

※不承認2件は、再提出後承認された。

2 妊孕性温存治療費助成事業

表2 妊孕性温存治療助成事業申請受理件数(件)

年度	計	白山市	野々市市	かほく市	津幡町	内灘町	管外
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	4	0	1	0	3	0	0
令和5年度	4	0	1	1	1	1	0
令和6年度	1	0	0	0	0	1	0
令和7年度	2	2	0	0	0	0	0

※申請は、最寄りの保健福祉センターにおいて可能であるので、申請受理は住所地以外のものを含む。

3 肝炎治療に対する医療費助成

表3 肝炎治療受給新規申請者数(人)

年度	計	インターフェロン治療 (3剤併用療法含む)	核酸アナログ製剤治療	インターフェロンフリー治療
令和3年度	44	0	21	23
令和4年度	30	1	18	11
令和5年度	34	0	21	13
令和6年度	29	0	18	11
令和7年度	28	0	19	9

4 小児慢性特定疾病医療給付

表4 小児慢性特定疾病医療給付状況 (年度末受給者証所持者数)

(令和7年度) (人)

区分 疾患	管内			石川 中央	河 北	市 町 別					年 齢 別				
	男	女	計			白 山 市	野 々 市	か ほ く 市	津 幡 町	内 灘 町	0～1歳 未満	1～6歳 未満	6～10歳 未満	10～18 歳 未満	18～20 歳 未満
総数	138 (9)	110 (5)	248 (14)	118 (5)	130 (9)	77 (2)	41 (3)	57 (2)	39 (6)	34 (1)	6 (4)	43 (3)	49 (3)	123 (4)	27 (0)
1 悪性新生物	28 (1)	12 (0)	40 (1)	24 (0)	16 (1)	14 (0)	10 (0)	7 (1)	3 (0)	6 (0)	0 (0)	4 (0)	11 (1)	20 (0)	5 (0)
2 慢性腎疾患	3 (0)	2 (1)	5 (1)	1 (0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (0)	0 (0)
3 慢性呼吸器疾患	2 (0)	7 (0)	9 (0)	4 (0)	5 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
4 慢性心疾患	39 (3)	34 (0)	73 (3)	39 (0)	34 (3)	27 (0)	12 (0)	14 (1)	10 (2)	10 (0)	5 (3)	10 (0)	17 (0)	33 (0)	8 (0)
5 内分泌疾患	20 (1)	18 (0)	38 (1)	12 (1)	26 (0)	9 (1)	3 (0)	15 (0)	5 (0)	6 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	29 (1)	4 (0)
6 膠原病	2 (0)	4 (0)	6 (0)	1 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)
7 糖尿病	10 (2)	8 (0)	18 (2)	11 (0)	7 (2)	8 (0)	3 (0)	3 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (2)	3 (0)
8 先天性代謝異常	4 (1)	5 (0)	9 (1)	4 (1)	5 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	5 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
9 血液疾患	9 (0)	2 (1)	11 (1)	4 (0)	7 (1)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	5 (1)	1 (0)
10 免疫疾患	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
11 神経・筋疾患	9 (1)	9 (1)	18 (2)	6 (1)	12 (1)	3 (0)	3 (1)	4 (0)	4 (1)	4 (0)	0 (0)	7 (2)	5 (0)	3 (0)	3 (0)
12 慢性消化器疾患	9 (0)	5 (1)	14 (1)	8 (1)	6 (0)	6 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	6 (0)	2 (0)
13 染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)
14 皮膚疾患	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
15 骨系統疾患	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
16 脈管系疾患	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※ () 内は新規申請者数

5 指定難病及び特定疾患医療給付

表5 指定難病及び特定疾患医療給付状況 (年度末受給者証所持者数：市町別)

(令和7年度)(人)

区 分 疾 患		管 内			石 川 中 央	河 北	市 町 別				
		男	女	計			白 山 市	野 々 市 市	か ほ く 市	津 幡 町	内 灘 町
総 数		1,060 (182)	1,347 (196)	2,407 (378)	1,491 (234)	916 (144)	1,054 (163)	437 (71)	330 (54)	335 (55)	251 (35)
1	神 経 ・ 筋 疾 患	228 (47)	324 (53)	552 (100)	354 (59)	198 (41)	257 (40)	97 (19)	78 (11)	71 (17)	49 (13)
2	代 謝 系 疾 患	33 (4)	14 (3)	47 (7)	31 (6)	16 (1)	24 (4)	7 (2)	2 (0)	4 (0)	10 (1)
3	染 色 体 ・ 遺 伝 子 異 常	1 (0)	3 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
4	免 疫 系 疾 患	111 (34)	376 (23)	487 (57)	297 (35)	190 (22)	210 (22)	87 (13)	59 (9)	70 (6)	61 (7)
5	循 環 器 系 疾 患	43 (6)	32 (8)	75 (14)	36 (5)	39 (9)	27 (3)	9 (2)	17 (5)	12 (1)	10 (3)
6	消 化 器 系 疾 患	288 (39)	253 (43)	541 (82)	320 (50)	221 (32)	205 (39)	115 (11)	83 (13)	92 (13)	46 (6)
7	内 分 泌 系 疾 患	37 (4)	48 (5)	85 (9)	58 (7)	27 (2)	39 (5)	19 (2)	8 (0)	8 (1)	11 (1)
8	血 液 系 疾 患	36 (10)	49 (9)	85 (19)	53 (15)	32 (4)	41 (13)	12 (2)	13 (4)	10 (0)	9 (0)
9	腎 ・ 泌 尿 器 系 疾 患	70 (12)	60 (9)	130 (21)	84 (10)	46 (11)	55 (5)	29 (5)	16 (4)	20 (6)	10 (1)
10	呼 吸 器 系 疾 患	58 (4)	65 (10)	123 (14)	88 (10)	35 (4)	65 (5)	23 (5)	21 (1)	11 (3)	3 (0)
11	皮 膚 ・ 結 合 組 織 疾 患	17 (3)	17 (3)	34 (6)	19 (5)	15 (1)	14 (3)	5 (2)	4 (1)	6 (0)	5 (0)
12	骨 ・ 関 節 系 疾 患	84 (11)	42 (17)	126 (28)	74 (18)	52 (10)	55 (11)	19 (7)	18 (3)	17 (6)	17 (1)
13	聴 覚 ・ 平 衡 機 能 系 疾 患	44 (8)	49 (12)	93 (20)	61 (13)	32 (7)	50 (13)	11 (0)	8 (3)	10 (2)	14 (2)
14	視 覚 系 疾 患	10 (0)	15 (1)	25 (1)	14 (1)	11 (0)	11 (0)	3 (1)	3 (0)	3 (0)	5 (0)

※()内は新規申請者数

※平成27年1月から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、医療費助成の対象疾患が拡大された。

表6 指定難病及び特定疾患医療給付状況 (年度末受給者証所持者数：年齢別) (令和7年度) (人)

疾 患 区 分		年 齢 別								総 数
		～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
総 数		1	8	153	174	309	438	424	900	2,407
1	神 経 ・ 筋 疾 患	1	0	9	14	34	70	87	337	552
2	代 謝 系 疾 患	0	0	5	0	4	4	9	25	47
3	染 色 体 ・ 遺 伝 子 異 常	0	0	2	0	1	1	0	0	4
4	免 疫 系 疾 患	0	0	24	27	61	101	100	174	487
5	循 環 器 系 疾 患	0	0	8	7	5	19	16	20	75
6	消 化 器 系 疾 患	0	5	68	82	118	116	76	76	541
7	内 分 泌 系 疾 患	0	0	12	6	17	19	13	18	85
8	血 液 系 疾 患	0	0	7	8	8	6	16	40	85
9	腎 ・ 泌 尿 器 系 疾 患	0	2	10	11	27	26	20	34	130
10	呼 吸 器 系 疾 患	0	0	2	5	5	18	27	66	123
11	皮 膚 ・ 結 合 組 織 疾 患	0	0	1	2	3	10	2	16	34
12	骨 ・ 関 節 系 疾 患	0	1	2	5	5	19	25	69	126
13	聴 覚 ・ 平 衡 機 能 系 疾 患	0	0	3	6	20	24	28	12	93
14	視 覚 系 疾 患	0	0	0	1	1	5	5	13	25

令和7（2025）年度版 保健所事業報告書

健康しかけ人白書

令和 8年 7月

発行

石川県石川中央保健福祉センター保健部

〒924-0864 石川県白山市馬場2丁目7番地

TEL (076) 275-2251 FAX (076) 275-2257

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hc/ishikawa/home.html>

e-mail: e150903@pref.ishikawa.lg.jp